RICOH

IPSiO SP C320

使用説明書
〈ハードウェアガイド〉

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本機に同梱されている使用説明書

- はじめにお読みください
- かんたんセットアップ
- クイックガイド
- ハードウェアガイド（本書）
- ドライバーインストール手順書
- ソフトウェアガイド
- セキュリティーガイド
- PostScript 3 編
- RPDL 編
- RTIFF 編
- R98 編
- R55 編
- R16 編
- PCL 編
- VMカード Java™ Platform 拡張機能初期設定 Web編

目次

5. 用紙のセット

6. 消耗品の交換

7. 清掃

8. 調整

9. 困ったときには

10. 紙づまりの対処

11. 付録

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、P.30「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部に動画を用いています。

はじめにお読みください（）

本製品についてのお問い合わせ先、注意事項、HTML マニュアルについて記載しています。

かんたんセットアップ（）

プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。

クイックガイド（）

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

ハードウェアガイド（本書）（）

本体各部の名称とはたらきや、オプションの接続方法、用紙に関する情報、消耗品の交換、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

ドライバーインストール手順書（）

プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。このマニュアルはドライバー CD に収録されています。

ソフトウェアガイド（）

本機で使用できる機能とプリンタードライバーの設定方法を説明しています。

セキュリティーガイド（）

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。セキュリティー強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

PostScript 3 編（）

PostScript 3 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RPDL 編（ ）

RPDL エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RTIFF 編（ ）

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R98 編（ ）

R98 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R55 編（ ）

R55 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R16 編（ ）

R16 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

PCL 編（ ）

PCL エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編（ ）

Web Image Monitor を使用して拡張機能の設定を行う方法について説明しています。

Linux/Unix をお使いの方へ（ ）

コマンドを使用してプリンターを操作する方法について説明しています。本機では使用できない機能や設定についても記載している場合があります。この説明書はリコーのホームページからダウンロードしてください。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧いただけます。
- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
はじめにお読みください	なし	有り（ ）	なし
かんたんセットアップ	有り（ ）	なし	有り（ ）
クイックガイド	有り（ ）	なし	有り（ ）
ハードウェアガイド	有り（ ）	有り（ ）	有り（ ）
ドライバーインストール手順書	なし	なし	有り（ ）
ソフトウェアガイド	なし	有り（ ）	有り（ ）
セキュリティーガイド	なし	なし	有り（ ）
PostScript 3 編	なし	有り（ ）	なし
RPDL 編	なし	有り（ ）	なし
RTIFF 編	なし	有り（ ）	なし
R98 編	なし	有り（ ）	なし
R55 編	なし	有り（ ）	なし
R16 編	なし	有り（ ）	なし
PCL 編	なし	有り（ ）	なし
VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編	なし	有り（ ）	有り（ ）
Linux/Unix をお使いの方へ	なし	なし	有り（ ）

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

本体に用意されているおもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
500 枚増設トレイ C221	500 枚増設トレイ
拡張 HDD タイプ Q	拡張 HDD
SDRAM モジュール VIII 256MB	SDRAM モジュール 256MB
SDRAM モジュール X 512MB	SDRAM モジュール 512MB
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A	拡張無線 LAN ボード
拡張 1284 ボードタイプ A	拡張 1284 ボード
1Giga イーサネットボード タイプ B	拡張ギガビットイーサネットボード
リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1	IC カード R/W

商品名	略称	総称
IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C320	マルチエミュレーションカード (RPDL、RTIFF、R98、R55、R16)	拡張 SD カード
IPSiO PS3 カード タイプ C320	PS3 カード	
IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C320	PDF ダイレクトプリントカード	
IPSiO PCL カード タイプ C320	PCL カード	
IPSiO BMLinkS カード タイプ C	BMLinkS カード	
IPSiO VM カード タイプ G	VM カード	
IPSiO デジタルカメラ接続カードタイプ G	デジタルカメラ接続カード	
リコー個人認証カード タイプ R1-09	個人認証システム	

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“分解禁止”を表します）

	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために守っていただきたいことを説明します。

接地接続について

⚠警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

使用環境について

⚠警告

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

⚠警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意

- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告

	• 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

	• 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

	• 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

	• 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

	• 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

	• 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

⚠注意

	• 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意

	• お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の取り扱いについて

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- プリンター本体の重さは、約 29kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 電話回線などの過電圧が加わる恐れのあるネットワークを LAN コネクターに接続しないでください。間違って接続すると、火災および感電の危険があります。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源コードをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

機械内部の取り扱いについて

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

	• 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠警告

	• 転写ユニットの取り外しは、電源プラグを抜いて 30 分以上たってから、行ってください。

⚠注意

	• 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

	• レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

	• 用紙（記録紙）を交換するときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

	• 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

	• 機械が動いているときは、原稿や転写紙を送るためのローラー、コロなどが回転しています。 • 安全装置によりけがをしないように設計されていますが、止まるための負荷でかじる程度の状態は生じることがあります。機械が動いているときは、ローラー、コロなどに手を触れないように注意してください。

⚠注意

- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

消耗品の取り扱いについて

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。

⚠注意

- 電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発の危険があります。使用済みの電池は、取扱指示に従って処分してください。

⚠注意

- 用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

心臓ペースメーカーをお使いの方へ

⚠警告

- 機械から微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）をご使用の方は、異状を感じたら本製品から離れてください。そして、医師に相談してください。

レーザーの安全性

この製品は、「クラス 1」レーザー製品として認定されています。この製品は、複数の AlGaAs 半導体レーザーを使用しており、それぞれの半導体レーザーの最大出力は 11mW で、波長は 775～791nm です。

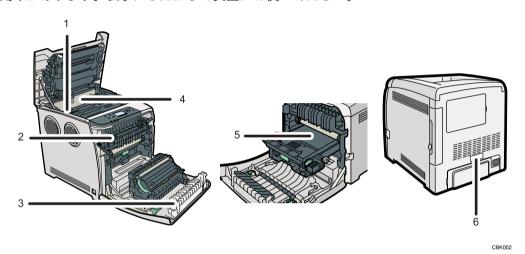
レーザー放射は筐体内に完全に遮へいされているため、この使用説明書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもレーザー放射が機外に漏れ出すことはありません。

⚠注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

安全に関する本機の表示について

警告、注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

1

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

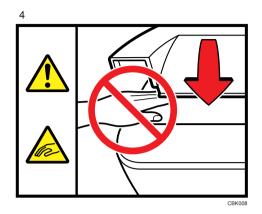
また、トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

2

機械内部の定着部とその周辺部は高温になっております。

このラベルが貼っている周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

3

前カバーの周辺部は高温になっております。

このラベルが貼っている周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

4

CBK008

上カバーを開閉する際、指挟み、指のけがに注意してください。

5

CBK009

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

また、トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

6

CBK010

機械本体の重さは、約 29kg あります。

機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。

電源スイッチの記号

本機のスイッチ類に記されている記号の意味は以下のとおりです。

- **I** ： 電源オン
- **O** ： 電源オフ

エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

低電力機能

- 本機には、低電力機能として、予熱モードとオートオフモードの 2 つの省エネモードがあります。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作部のキーを押すと解除されます。
- 省エネモードへの移行時間は、[システム設定] メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

機能の仕様

予熱モード	消費電力	45W
	初期設定移行時間	10 秒*1
	復帰時間	10 秒以下
オートオフモード	消費電力	4.5W
	初期設定移行時間	8 分
	復帰時間	15 秒以下

*1 工場出荷時の設定は、[移行しない] です。

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

画面で見る使用説明書の使いかた

画面で見る使用説明書の使いかたについて説明します。画面で見る使用説明書は、付属のCD-ROM に収録されています。

使用説明書の種類

本機の使用説明書は、媒体により 3 種類のものを提供しています。

- 紙の使用説明書
- 画面で見る使用説明書（HTML 形式）
- 画面で見る使用説明書（PDF 形式）

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部にムービーを用いています。使用説明書の記載内容について詳しくはP.8「使用説明書の紹介」を参照してください。また、分冊により提供されている使用説明書の形式が異なります。詳しくはP.10「使用説明書一覧表」を参照してください。

使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**
2. **［使用説明書への入り口］をクリックします。**

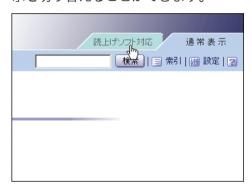
3. **［使用説明書（HTML）を見る］をクリックします。**
4. **参照したい使用説明書を選びます。**

   ブラウザーが起動し、使用説明書が表示されます。

補足

- 推奨ブラウザーは、以下のとおりです。
    - Internet Explorer 6 以降

- Firefox 3.5 以降
- Safari 4.0 以降

- 推奨外のブラウザーでは、バージョンの低いブラウザー向けに簡素化した使用説明書が表示されます。
- HTML 形式の使用説明書内のムービーを表示するには Adobe Flash Player（Macromedia Flash Player 5 以降）のプラグインが必要です。
- HTML 形式の使用説明書は通常用と読み上げソフト用と簡易表示用の 3 種類を収録しています。使用環境に合わせてお選びください。
- 使用説明書の内容を音声読み上げソフトでお聞きになる場合、または Flash プラグインをインストールできずムービーが表示されない場合は、音声読み上げ用に最適化された「読上げソフト対応」に切り替えてお使いください。ウィンドウ右上のタブで表示を切り替えることができます。

- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、［使用説明書（HTML）を見る］をクリックして使用説明書を開いてください。

使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う

HTML 形式の使用説明書はパソコンにインストールして使うことができます。

パソコンにインストールしておくと、いつでも利用できて便利です。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。

3. ［使用説明書（HTML）をインストールする］をクリックします。

4. 画面の指示にしたがって、インストールします。

5. インストールが完了したら、［完了］をクリックします。

6. 最初の画面で［終了］をクリックします。

7. インストールした画面で見る使用説明書（HTML 形式）を開きます。

アイコンから開くときは、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。［スタート］メニューから開くときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の OS をお使いの場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選びます。

8. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

- インストールするには管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。
- インストールするために必要な OS の条件は Windows 2000/XP/Vista/7、または Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 です。
- 画面で見る使用説明書をディスプレイに表示させるために必要な条件は、表示解像度（デスクトップ領域）：800×600 ピクセル以上です。
- すべての使用説明書をインストールしないと、参照先のページが表示されないことがあります。参照先を表示させたい場合、すべての使用説明書をインストールしてください。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROM の「MANUAL_HTML」フォルダーをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行してください。
- インストールした使用説明書を削除する場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の OS をお使いの場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選んでアンインストールを実行してください。

- インストール時のお客様の設定によっては、インストール先のフォルダー名称が異なる場合があります。

使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る

ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

MANUAL_PDF

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。

3. ［使用説明書（PDF）を見る］をクリックします。

4. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、［使用説明書（PDF）を見る］をクリックして使用説明書を開いてください。

お客様登録

インターネットに接続してお客様登録を行えます。

お客様登録をしていただくことにより、正式保証書を発行し、無償保証期間の保守サービス対象機として登録させていただきます。すでにお客様登録はがきを返送されている場合は、インターネットからの登録は不要です。

1. ［お客様登録の受付］をクリックします。

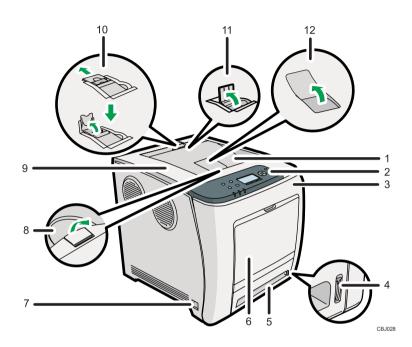
2. ページ内の指示に従って登録します。
3. 登録終了後、Web ブラウザーを終了します。
4. 最初の画面で［終了］をクリックします。

   これでお客様登録は終了です。

補足

- インターネットに接続している場合にご利用できます。
- お客様登録はがきをご返送いただきましても、同様の保証内容となります。

1. 各部の名称とはたらき

全体

1. **排紙トレイ**

   印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

2. **操作部**

   キーを使用してプリンターを操作したり、画面で動作状態を確認します。

3. **前カバー**

   廃トナーボトルの交換やつまった用紙を取り除くときに開けます。

   カバー右側にあるレバーを手前に引くと、カバーが開きます。

4. **用紙残量インジケーター**

   給紙トレイの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

5. **給紙トレイ（トレイ 1）**

   用紙をセットします。普通紙で最大 500 枚までセットできます。

6. **手差しトレイ**

   用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

7. **電源スイッチ**

   プリンターの電源を On/Off の状態にします。シャットダウンの方法については、P.46「電源を切る」を参照してください。

8. 上カバー開閉レバー

上カバーを開くときは、このレバーを上に引きます。

9. 上カバー

トナーカートリッジを交換するときに開けます。

10. 用紙フェンス（Legal サイズ用）

Legal サイズの用紙排紙時に、用紙が落下するのを防ぎます。

後方のフェンスを矢印の方向に引き出してから、立てて使用します。

11. 用紙フェンス（A4 サイズ用）

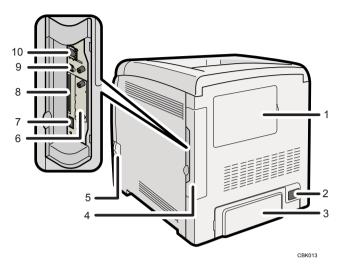
A4 サイズの用紙排紙時に、用紙が落下するのを防ぎます。

前方のフェンスを立てます。

12. 補助トレイ

印刷された用紙がカールしているときに使用します。

補助トレイの奥側を指で押すと、トレイが開きます。

背面

1. **メモリーカバー**

   SDRAM モジュールと拡張 HDD を増設するときは、このカバーを取り外します。

2. **電源コネクター差込口**

   プリンター本体側に電源コネクターを接続します。電源プラグは、コンセントに差し込みます。

3. **背面カバー**

   延長ガイドを使用するときに取り外します。

4. **ケーブルカバー**

   拡張インターフェースボードと拡張 SD カードの取り付け、各種ケーブルを接続するときは、このカバーを取り外します。

5. **前カバー開閉レバー**

   前カバーを開くときは、このレバーを手前に引きます。

6. **拡張インターフェースボード取り付け部**

   拡張無線 LAN ボードや拡張ギガビットイーサネットボード、拡張 1284 ボードを取り付けることができます。

7. **USB ポート A**

   本体と IC カード R/W、デジタルカメラ等を接続することができます。

8. **拡張 SD カード用スロット**

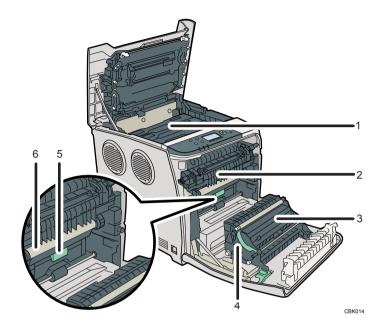
   スロットカバーを外し、拡張 SD カードを取り付けます。

9. **USB ポート B**

   本体とパソコンを接続する USB ケーブルを接続します。

10. **イーサネットポート**

    プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

内部

1. **トナーカートリッジ**

    プリンター本体奥から、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、ブラック（K）トナーカートリッジの順にセットします。

    操作部に以下のメッセージが表示されたら、交換します。

    [カートリッジの交換時期です]

2. **定着ユニット**

    用紙づまりの確認およびつまった用紙を取り除くときに操作します。

    操作部に以下のメッセージが表示されたら、交換が必要です。サービス実施店に連絡してください。

    [定着ユニットの交換時期です]

3. **2 次転写ローラー**

    操作部に以下のメッセージが表示されたら、交換が必要です。サービス実施店に連絡してください。

    [定着ユニットの交換時期です]

4. **搬送ユニット**

    廃トナーボトルを交換するときに、取り外します。

5. **廃トナーボトル**

    印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

    操作部に以下のメッセージが表示されたら、交換します。

    [廃トナーボトル満杯]

6. **中間転写ベルト**

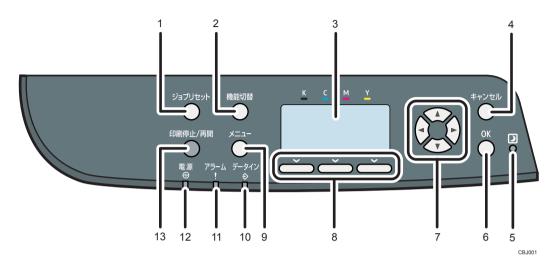
操作部に以下のメッセージが表示されたら、交換が必要です。サービス実施店に連絡してください。

[中間転写ユニットの交換時期です]

補足

- 交換メッセージについて詳しくは、P.189「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

操作部

操作部の各部の名称とはたらきについて説明します。

1. [ジョブリセット] キー

印刷中または受信中のデータを取り消すときに押します。

2. [機能切替] キー

複数のアプリケーションをインストールしている場合に、各アプリケーションの操作画面に切り替えます。

3. 画面

本機の状態やエラーメッセージが表示されます。

省エネモードに移行すると、バックライトが消灯します。省エネモードの設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

4. [キャンセル] キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

5. ECO ナイトセンサー

自動的に本機の電源を切るための、室内の明るさを検知するセンサーです。この機能については、P.47「周囲が暗くなった場合に自動で電源を切れるようにする」を参照してください。

6. [OK] キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

7. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。

本書で [▲] [▼] [▶] [◀] と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

8. 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

9.［メニュー］キー

設定を変更したり、現在の設定を確認するときに押します。

各種の設定中に［メニュー］キーを押すと、通常の画面に戻ります。

10. データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

11. アラームランプ

プリンターエラーが発生したときに、点灯または点滅します。

赤点灯したときは、印刷ができないか、きれいな印刷結果が得られない場合があります。

黄点滅したときは、印刷はできますが、消耗品の交換が間近です。

操作部の画面でエラーの内容を確認して対処してください。

12. 電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

13.［印刷停止/再開］キー

印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。

このキーをもう一度押すか、オートリセット時間設定で設定されている時間が経過すると（工場出荷時の設定は「60 秒」）印刷を再開します。

［オートリセット時間設定］の設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

画面

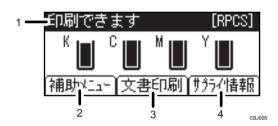
1

画面には操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

選択項目が選択、または指定されたときは、白黒反転表示されます。

重要

- **画面には触れないでください。**

工場出荷時の設定では、電源を入れたときに以下の待機画面が表示されます。

1. **ステータスメッセージ**

   本機の状態やメッセージが表示されます。

2. **[補助メニュー]**

   左の選択キーを押すと、以下のメニューが表示されます。

   - 強制排紙
   - エラー履歴表示
   - 給紙トレイ
   - エミュレーション呼び出し
   - 印刷条件
   - 印刷部数
   - プログラム登録／消去

3. **[文書印刷]**

   中央の選択キーを押すと、[文書印刷]メニューが表示されます。試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書、保存文書を確認・印刷することができます。

4. **[サプライ情報]**

   右の選択キーを押すと、トナー、用紙の残量や廃トナーボトル、中間転写ユニット、定着ユニットの交換時期を確認できます。

補足

- 呼び出しているエミュレーションによって、[補助メニュー]で表示されるメニューが異なります。
- [文書印刷]メニューは、本体に拡張 HDD が装備されているときに表示されます。
- 工場出荷時の設定では、待機画面にトナー残量を表示する設定になっています。トナー残量表示をオフにするときは、操作部の[メニュー]キーを押して、[調整/管理]

メニューの［一般管理］⇒［サプライ残量表示］で［表示しない］を選択してください。

- 画面が暗くて見づらいときは、画面の明るさを調整してください。操作部の［メニュー］キーを押して、［調整/管理］メニューの［一般管理］⇒［画面コントラスト調整］で画面の明るさを調整できます。

電源

1

電源を入れる

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

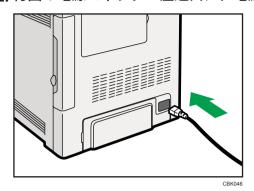
重要

- **電源を入れるとき、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。**
- **電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、電源スイッチを「Off」にしてください。**
- **初期設定が終わるまで電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。**

1. 電源スイッチが「Off」側になっていることを確認します。

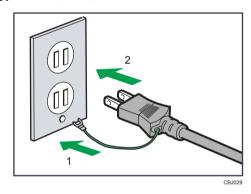
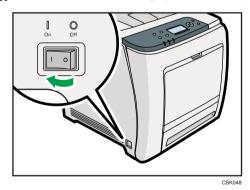
CBK236

2. 背面の電源コネクター差込口に、電源コネクターを接続します。

CBK046

3. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

CBJ029

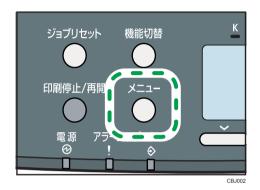
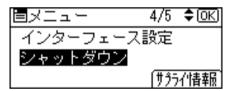
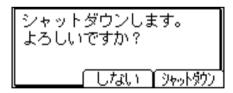
4. 電源スイッチを「On」側にします。

CBK048

補足

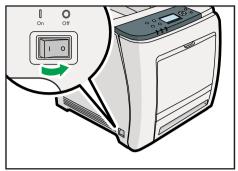
- 操作部の電源ランプが点灯し、「おまちください」のメッセージが表示されます。本機の初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。
- 初期設定は、最初に電源を入れたときには、2～3 分かかります。初期設定中に動作音が聞こえますが、故障ではありません。

電源を切る

- **シャットダウンの手順を行う前に、電源スイッチを「Off」にしないでください。先に電源スイッチを Off にすると、拡張 HDD やメモリーが破損し、誤作動を起こすおそれがあります。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2.［▼］［▲］キーを押して［シャットダウン］を選択し、［OK］キーを押します。

3.［シャットダウン］の選択キーを押します。

「電源を切ってください。」と表示されるまでお待ちください。

4. 電源スイッチを「Off」にします。

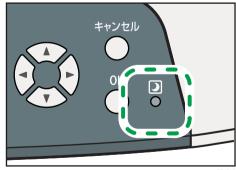
CBK050

補足

- 本体が次の状態にあるとき、［シャットダウン］を選択しても電源が切れない場合があります。
    - ハードディスクが動作中
    - 外部機器と通信中
    - 本体のカバーが開いているとき

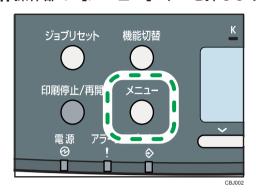
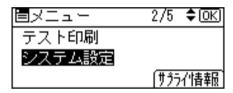
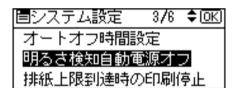
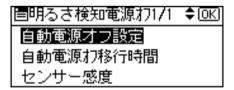
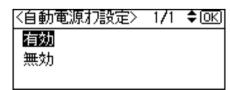
周囲が暗くなった場合に自動で電源を切れるようにする

本機には、周辺の明るさを検知して、自動的に本機の電源を切る機能が備わっています。設定方法について説明します。工場出荷時の設定は［無効］に設定されています。

ECO ナイトセンサーの上に物を置くと、ECO ナイトセンサーが反応して周囲が明るい場合でも、電源が切れてしまうことがあります。ECO ナイトセンサーの上に、物を置かないでください。

CBJ010

重要

- **用紙がセットされていないなどの印刷の停止中や紙づまりが発生したときは本機能がはたらきません。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［明るさ検知自動電源オフ］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［自動電源オフ設定］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して［有効］を選択し、［OK］キーを押します。

6. ［自動電源オフ移行時間］で、設定する時間を選択してください。

明るさ検知電源オフ 1/1 OK
自動電源オフ設定
自動電源オフ移行時間
センサー感度

7. ［センサー感度］で、検知レベルを選択してください。

明るさ検知電源オフ 1/1 OK
自動電源オフ設定
自動電源オフ移行時間
センサー感度

センサーの感度は 5 段階で設定できます。

センサー感度は、［レベル 5（やや暗い）］が一番明るい状態に反応します。

明るさの目安は、次の通りです。

- レベル 1（非常に暗い）

  月明かり程度（0.4 lx）

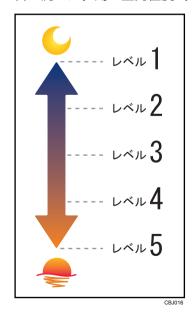
- レベル 3（暗い）

  上映中の映画館程度（2.4 lx）

- レベル 5（やや暗い）

  日が沈んだ夕刻の室内程度（75.0 lx）

8. ［メニュー］キーを押します。

補足

- ［明るさ検知自動電源オフ］機能によって電源が切れたプリンターを再起動させるためには、電源スイッチを「On」にしてください。

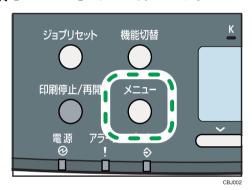
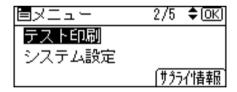
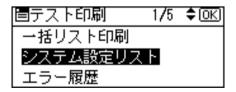
1

テスト印刷する

プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。

テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここでは、「システム設定リスト」の印刷手順を例に説明します。

1. ［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［テスト印刷］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［システム設定リスト］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［メニュー］キーを押します。

補足

- 正常に印刷できないときは、操作部にエラーメッセージが表示されていないか確認してください。エラーメッセージが表示されている場合は、P.189「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

2. オプションを取り付ける

オプションの構成

オプションを取り付けると、プリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについては、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源コードをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

補足

- 本文中ではオプションの略称を使用しています。

オプション取り付けの流れ

本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをお勧めします。

1. **500 枚増設トレイを取り付ける。**

   増設トレイとして本機の底部に取り付けます。500 枚増設トレイを取り付けた場合、手差しトレイを含めて、最大 1,100 枚の用紙を同時にセットできます。

2. **SDRAM モジュールを取り付ける。**

   メモリーカバー内の SDRAM モジュール用スロットに取り付けます。増設メモリは、256M バイトと 512M バイトの 2 種類があります。

3. **拡張 HDD を取り付ける。**

   メモリーカバーを取り外して、拡張 HDD を取り付けます。

4. **拡張インターフェースボードを取り付ける。**

   拡張無線 LAN ボード、拡張ギガビットイーサネットボード、拡張 1284 ボードのいずれかを取り付けます。

5. **拡張 SD カードを取り付ける。**

   拡張 SD カードを同時に 3 つ以上使いたい場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

2

オプションの取り付け

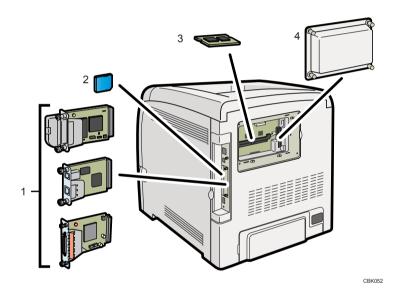
オプションを取り付ける位置について説明します。

外部

- 500 枚増設トレイ

  本体の底部に取り付けます。普通紙で最大 500 枚の用紙をセットできます。取り付けた 500 枚増設トレイは「トレイ 2」と認識されます。

  設置手順については、P.53「500 枚増設トレイを取り付ける（トレイ 2）」を参照してください。

内部

1. 拡張インターフェースボード

P.62「拡張無線 LAN ボードを取り付ける」

P.64「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」

P.67「拡張 1284 ボードを取り付ける」

2. 拡張 SD カード

P.70「拡張 SD カードを取り付ける」

3. SDRAM モジュール

P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」

4. 拡張 HDD

P.59「拡張 HDD を取り付ける」

補足

- 各オプションの仕様については、P.240「仕様」を参照してください。

500 枚増設トレイを取り付ける（トレイ 2）

オプションの増設トレイを取り付ける方法を説明します。

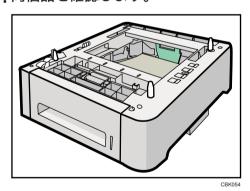
⚠注意

- プリンター本体の重さは、約 29kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

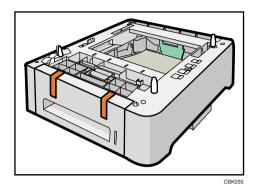
重要

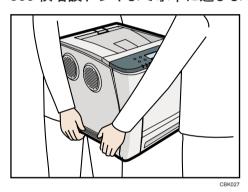
- **取り付けた 500 枚増設トレイは「トレイ 2」と認識されます。**
- **本機は必ず 2 人で持ち上げてください。**
- **本機を持ち上げるときは、給紙トレイ部分を持たないでください。**
- **500 枚増設トレイを使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。**
- **500 枚増設トレイは、必ず給紙トレイをセットしている状態でお使いください。**

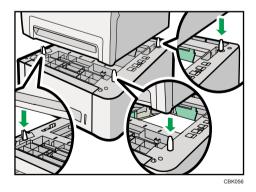
1. 同梱品を確認します。

CBK054

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. 500 枚増設トレイから保護テープを取り外します。

CBK055

4. 本機を 2 人で、本機両側面の運搬用の取っ手を持ってゆっくりと持ち上げ、500 枚増設トレイまで水平に運びます。

CBK027

5. 500 枚増設トレイには、3 本の垂直ピンがついています。本機下側の穴に垂直ピンを合わせ、トレイの上に本体をゆっくりと下ろします。

CBK056

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7. 500 枚増設トレイに用紙をセットし、システム設定リストを印刷して、トレイが正しく取り付けられたことを確認してください。

取り付けに成功した場合は、システム設定リストの「給紙トレイ」の欄にトレイ 2 の情報が表示されます。

補足

- 取り付けた 500 枚増設トレイを使用するには、プリンタードライバーで追加したトレイ（500 枚増設トレイ）を選択してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 500 枚増設トレイの取り付けに失敗した場合は、この手順に従って、もう一度取り付けを行ってください。それでもトレイを正しく取り付けられない場合は、お買い上げの販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。
- システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
- 用紙をセットする方法について詳しくは、P.126「給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。
- 印刷位置がずれたときは、P.186「印刷位置を調整する」を参照してください。

拡張メモリーユニットを取り付ける

SDRAM モジュールを取り付ける

2

本機では、標準 SDRAM モジュールがあらかじめ設置されています。オプションの SDRAM モジュールを取り付ける場合は、標準 SDRAM モジュールと交換して取り付けてください。

⚠注意

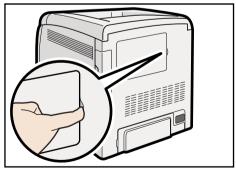
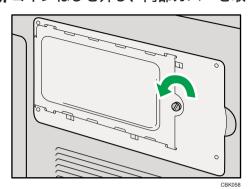
	• SDRAM モジュールを取り付ける前に、必ず本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。SDRAM モジュールの取り付けが終わったときは、必ずメモリーカバー取り付けてから本機の電源を入れてください。

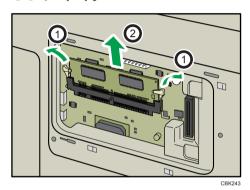
重要

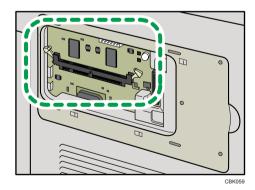
- **SDRAM モジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- **SDRAM モジュールに物理的衝撃を与えないでください。**
- **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**
- **新しい SDRAM モジュールを使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。**

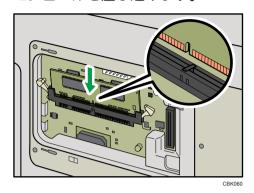
1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. メモリーカバーを外します。

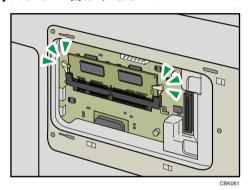
3. コインねじを外し、内部カバーを取り外します。

CBK058

4. 差し込み口の左右にあるツメを広げ（①）、標準 SDRAM モジュールを取り外します（②）。

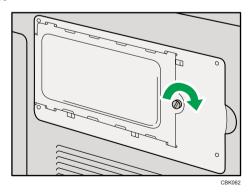
CBK243

5. SDRAM モジュールの差込口を確認します。

CBK059

6. 新しい SDRAM モジュールの切り欠きを、差し込み口の凸部に合わせ、SDRAM モジュールを差し込みます。

CBK060

7. カチッと音がするまで SDRAM モジュールを押し込みます。

CBK061

オプションの拡張 HDD を設置する場合は、この手順のあとに P.59「拡張 HDD を取り付ける」に進んでください。

8. コインねじを締め、内部カバーを取り付けます。

CBK062

9. メモリーカバーを取り付けます。
10. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。
11. 「システム設定リスト」を印刷して、SDRAM モジュールが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載メモリ」の欄に搭載しているメモリーの合計値が記載されます。
- SDRAM モジュールの合計値は以下のとおりです。システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

標準	増設	合計値
256MB+128MB（増設と交換可能）	256MB	512MB
	512MB	768MB

- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

拡張 HDD を取り付ける

⚠注意

- 拡張 HDD を取り付ける前に、必ず本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。必ず拡張 HDD の取り付けが終わってから本機の電源を入れてください。

重要

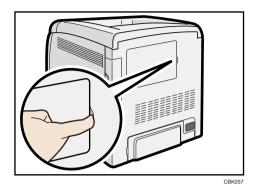
- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 HDD が破損するおそれがあります。**
- **拡張 HDD に物理的衝撃を与えないでください。**
- **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**
- **新しい拡張 HDD を使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。**

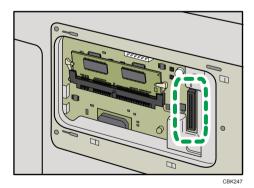
1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

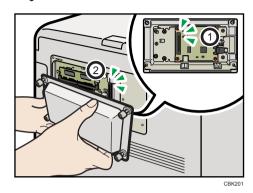
2. メモリーカバーを外します。

CBK057

3. コインねじを外し、内部カバーを取り外します。

CBK058

4. 拡張 HDD の差込口を確認します。

CBK247

5. 本体の差込口（②）にあわせて拡張 HDD スロット（①）を挿入してください。

CBK201

ねじがきちんと入らない場合は、ねじの位置を調整してください。

必ず拡張 HDD をプリンター本体と平行になるように設置してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7. 「システム設定リスト」を印刷して、拡張 HDD が正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- 拡張 HDD が正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ハードディスク」と記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張 HDD には、セキュリティー機能を強化するための SD カードが付属されています。SD カードの取り付けは、P.70「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。

インターフェースユニットを取り付ける

拡張無線 LAN ボードを取り付ける

2

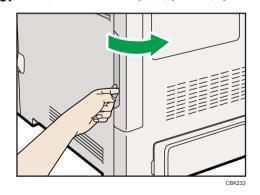
重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張無線 LAN ボードが破損するおそれがあります。**
- **拡張無線 LAN ボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**

1. 同梱品を確認します。

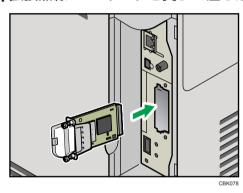
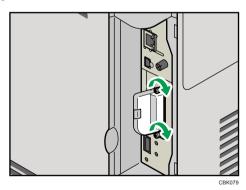
BFL301S

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

ケーブルカバーは取り外して使用してください。

4. コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。

スロットカバーは取り外して使用してください。

5. 拡張無線 LAN ボードを奥まで差し込みます。

6. ねじ 2 本を締め、拡張無線 LAN ボードを固定します。

7. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

8. 「システム設定リスト」を印刷して、拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

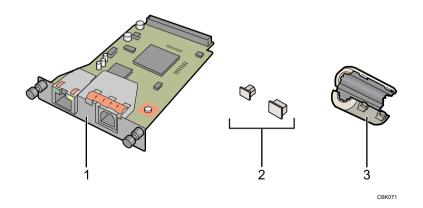
補足

- 拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「無線 LAN」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張無線 LAN ボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.91「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.233「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

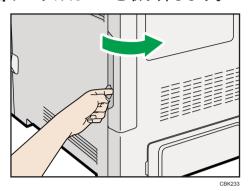
拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける

重要

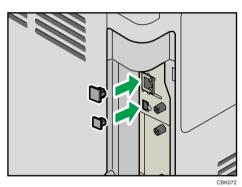
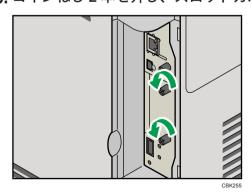
- **拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、プリンター本体標準のイーサネットポートと USB ポートは使用できなくなります。拡張ギガビットイーサネットボードのイーサネットポートと USB ポートをご利用ください。**
- **拡張ギガビットイーサネットボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- **拡張ギガビットイーサネットボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**

1. 同梱品を確認します。

1. 拡張ギガビットイーサネットボード
2. 接続防止用キャップ（イーサネットポート用、USB ポート用各 1 個）

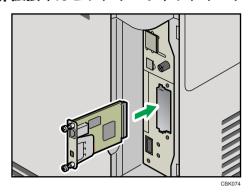
3. イーサネットケーブル用フェライトコア 1 個

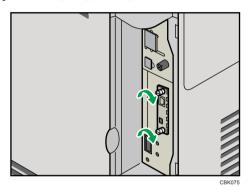
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. ケーブルカバーを取り外します。

ケーブルカバーは取り外して使用してください。

4. 本体標準のイーサネットポートと USB ポートからケーブルを抜き、接続防止用キャップをそれぞれはめ込みます。

5. コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。

スロットカバーは取り外して使用してください。

6. **拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで差し込みます。**

CBK074

7. **ねじ 2 本を締め、拡張ギガビットイーサネットボードを固定します。**

CBK075

ケーブルを拡張ギガビットイーサネットボードに接続してください。拡張ギガビットイーサネットボードへのケーブルの接続方法は、P.73「イーサネットケーブルで接続する」または、P.77「USB ケーブルで接続する」を参照してください。

8. **電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。**

9. **「システム設定リスト」を印刷して、拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたことを確認します。**

補足

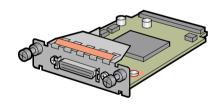
- 拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたかどうかは、「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられているとき、「接続デバイス」の欄に「ギガビットイーサネット」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.83「イーサネットを使用する」を参照してください。

- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.233「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張 1284 ボードを取り付ける

重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 1284 ボードが破損する恐れがあります。**
- **拡張 1284 ボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**

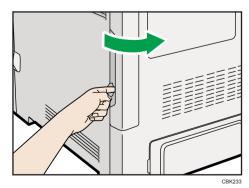
1. 同梱品を確認します。

BFL302S

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ケーブルカバーを取り外します。

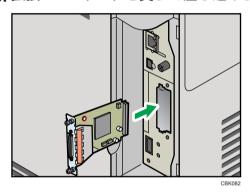
CBK233

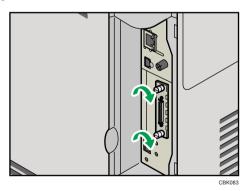
ケーブルカバーは取り外して使用してください。

4. コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。

CBK255

スロットカバーは取り外して使用してください。

5. 拡張 1284 ボードを奥まで差し込みます

CBK082

6. ねじ 2 本を締め、拡張 1284 ボードを固定します。

CBK083

補足

- 拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「パラレルインターフェース」と記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.233「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

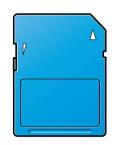
拡張 SD カードを取り付ける

⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

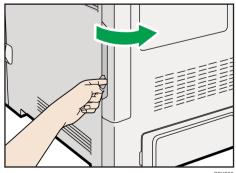
重要

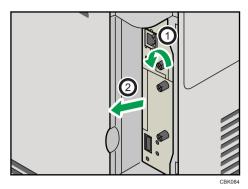
- **拡張 SD カードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **オプションの VM カードを使用する場合は、512MB 以上の SDRAM モジュールをセットしている必要があります。**

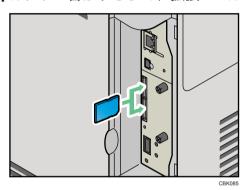
1. 同梱品を確認します。

BFL308S

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

4. コインねじを外し（①)、拡張 SD カード用のスロットのカバーを取り外します（②)。

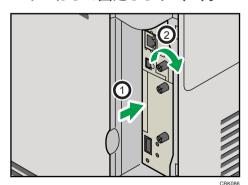
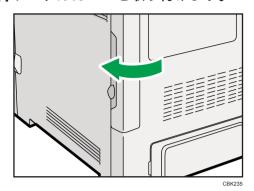
CBK084

5. カチッと音がするまで、拡張 SD カードをスロットに差し込みます。

CBK085

1 種類のカードを使用する場合は、上側のスロットに差し込んでください。同時に 2 種類のカードを使用する場合は、どちらのスロットに差し込んでも使用できます。オプションの VM カードを使用する場合のみ下側のスロットを使用してください。

6. 拡張 SD カード用のスロットのカバーをスロット下部の穴に差し込み（①)、コインねじで固定します（②)。

CBK086

7. ケーブルカバーを取り付けます。

CBK235

8. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

補足

- 本機を使用中は、装着したカードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ず拡張 SD カード用のスロットカバーを取り付けてください。
- デジタルカメラ接続カードが正しく取り付けられたかどうかは、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。デジタルカメラ接続カードが正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載エミュレーション」の欄に「PictBridge」が記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
- 装着した拡張 SD カードが正しく取り付けられたかどうかは、操作部に表示されるメニューを確認します。装着した拡張 SD カードによって、操作部に表示されるメニューが異なります。
    - 拡張 HDD に付属されているカード：

      [セキュリティー管理] の [メモリー自動消去設定] を [する] に設定すると、[メモリー内残存データ状態確認] が表示されます。
    - 個人認証システム：[セキュリティー管理] に [拡張認証管理] が表示されます。
    - マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード：

      [補助メニュー] の [エミュレーション呼び出し] に装着したエミュレーションカードの名称が表示されます。
- 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

3. パソコンとの接続

イーサネットケーブルで接続する

HUB などのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

本機のイーサネットボード（ポート）に、100BASE-TX または 10BASE-T のケーブルを接続してください。1000BASE-T 対応の拡張ギガビットイーサネットボードは、オプションとして用意されています。

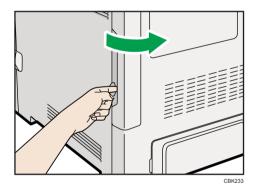
3

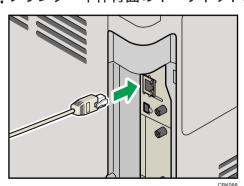
重要

- **イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**
- **拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、本体標準のイーサネットポートと USB ポートは使用できなくなります。**

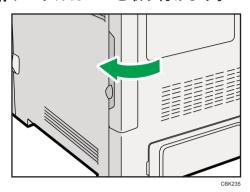
本体標準のイーサネットポートを使用する場合

1. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

2. プリンター本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。

CBK088

3. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

4. ケーブルカバーを取り付けます。

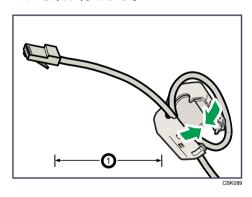
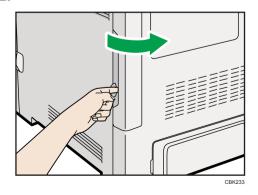
CBK235

拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合

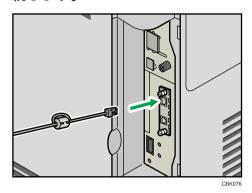
1. イーサネットケーブルにフェライトコアを取り付けます。

コネクターの根元から 10cm（①）離したところにケーブルで輪を作り、フェライトコアを取り付けます。

CBK089

2. ケーブルカバーを取り外します。

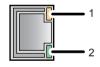
CBK233

ケーブルカバーは取り外して使用してください。

3. 本機に装着した拡張ギガビットイーサネットボードのポートにケーブルを接続します。

4. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

補足

- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.64「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。
- ネットワーク環境の設定については、P.83「イーサネットを使用する」を参照してください。

LED の見かた

本体標準のイーサネットポート

1. 100BASE-TX 動作時は上側の LED が黄点灯し、10BASE-T 動作時は消灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると下側の LED が緑点灯します。

拡張ギガビットイーサネットポート

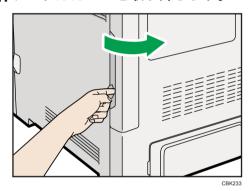
1. 10BASE-T 動作時は上側の LED が緑点灯します。
2. 100BASE-TX 動作時は下側の LED が黄点灯します。
3. 1000BASE-T 動作時は両方の LED が点灯します。

USB ケーブルで接続する

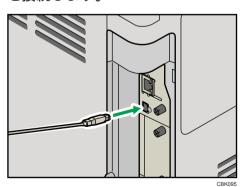
重要

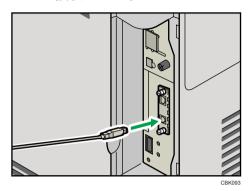
- USB 接続は、Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 9、Mac OS X 10.3.3 以降に対応しています。
- Macintosh では、本体標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS 9 のサポート速度は USB1.1 相当です。
- USB ケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- インターフェースケーブルをお買い求めの際は、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

1. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

ケーブルカバーは取り外して使用してください。

2. プリンター本体の USB ポート B に、USB ケーブルの小さい方のコネクターを接続します。

CBK095

3. 拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合は、装着した拡張ギガビットイーサネットボードのUSBポートに、USBケーブルの小さい方のコネクターを接続します。

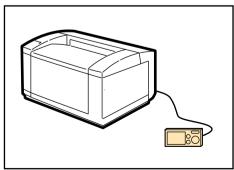
CBK093

4. もう一方をパソコンのUSBポート、またはUSBハブなどに接続します。

パソコンにプラグアンドプレイ画面が表示されます。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「USB接続で使う」を参照してください。

補足

- プリンターが不正なデバイスとしてWindowsに認識されてしまった場合、その対処方法として『ドライバーインストール手順書』「USB接続がうまくいかないとき」を参照してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.64「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。

プリンターとデジタルカメラの接続

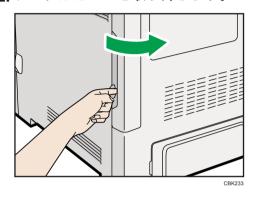
本機ではデジタルカメラで撮影した画像を、パソコンを使用せずに直接印刷（ダイレクトプリント）することができます。ここでは本機とデジタルカメラとの接続手順を説明します。

CBK094

重要

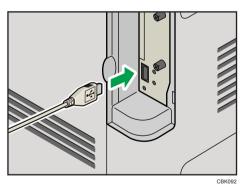
- この機能を使用するためには、デジタルカメラ接続カードが必要です。
- デジタルカメラ接続カードには、USB ケーブルとケーブルを束ねておくフックが同梱されています。
- お使いのデジタルカメラが、PictBridge 対応であることをご確認ください。

1. 本機の電源が入っていることを確認します。

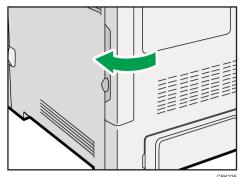
2. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

3. 本機とデジタルカメラを接続します。

デジタルカメラ接続カードに同梱されている USB ケーブルを使用します。USB ケーブルの大きい方のコネクターを、USB ポート A に接続します。

CBK092

4. USB ケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルカメラに接続します。

5. ケーブルカバーを取り付けます。

3

補足

- デジタルカメラ接続カードの取り付け方法については、P.70「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。
- 印刷方法については、『ソフトウェアガイド』「デジタルカメラから直接印刷する（PictBridge）」を参照してください。

パラレルケーブルで接続する

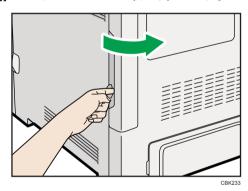
パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。インターフェースケーブルについては、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

重要

- **指定のインターフェースケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと電波障害を起こすことがあります。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピン、またはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**

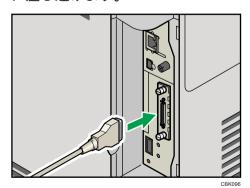
1. プリンター本体とパソコンの電源を切ります。

2. ケーブルカバーを取り外します。

CBK233

ケーブルカバーは取り外して使用してください。

3. インターフェースケーブルを拡張 1284 ボードのインターフェースコネクターに差し込みます。

CBK096

4. パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「パラレル接続で使う」を参照してください。

補足

- 拡張 1284 ボードの取り付け方法については、P.67「拡張 1284 ボードを取り付ける」を参照してください。

4. インターフェース設定

イーサネットや無線 LAN を使用する場合の設定方法を説明します。

イーサネットを使用する

イーサネットケーブルやオプションの拡張無線 LAN ボードを使用して本体をネットワークに接続する場合は、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

重要

- **［ネットワーク設定］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。**
    - **本体 IPv4 アドレス：**

      自動的に取得（DHCP）：Off

      IPv4 アドレス：11.22.33.44

      IPv4 サブネットマスク：0.0.0.0

      IPv4 ゲートウェイアドレス：0.0.0.0
    - **IPv6 ステートレス設定：有効**
    - **IPsec：無効**
    - **有効プロトコル：**

      IPv4：有効

      IPv6：無効

      SMB：有効

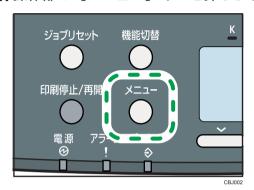
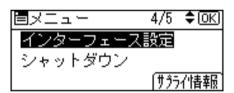
      AppleTalk：有効
    - **イーサネット速度：自動設定**
    - **イーサネット用 IEEE 802.1X 認証：無効**
    - **IEEE 802.1X 認証初期化**
    - **インターフェース選択：イーサネット**
- **［ネットワーク設定］メニューでの設定が済みましたら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者にお問い合わせください。**

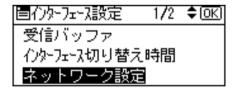
補足

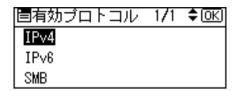
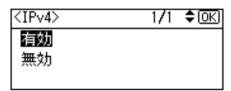
- IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をする場合は、Web Image Monitor も使用できます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- DHCP 環境で使用する場合、IPv4 アドレス、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。

- [イーサネット速度] は必要に応じて設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

1. 操作部の [メニュー] キーを押します。

2. [▼] [▲] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。

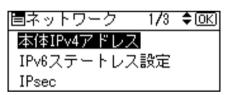
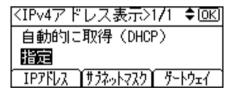
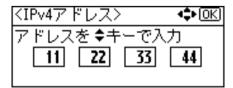
3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▼] [▲] キーを押して [有効プロトコル] を選択し、[OK] キーを押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して使用するプロトコルを選択し、［OK］キーを押します。

ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

6. ［▼］［▲］キーを押して［有効］を選択し、［OK］キーを押します。

ご使用にならないプロトコルは［無効］にしておくことをお勧めします。

7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

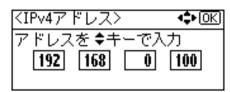
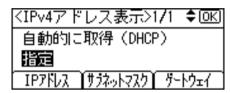
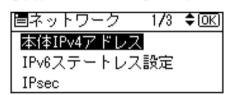
8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、［キャンセル］キーを押します。

9. ［▼］［▲］キーを押して［本体 IPv4 アドレス］を選択し、［OK］キーを押します。

10. ［▼］［▲］キーを押して［指定］を選択し、［IP アドレス］の選択キーを押します。

11. ［▼］［▲］キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。

設定する IPv4 アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

- ［▼］［▲］キーを押し続けると、値が 10 ずつ増減します。

4

- ［▶］［◀］キーを押すと、フィールドを移動します。
- 11.22.33.44 は使用できません。指定しないでください。

12. すべてのフィールドに値を入力して、［OK］キーを押します。

13. 本体の IPv4 アドレスを確定させます。［▼］［▲］キーを押して［指定］を選択し、［OK］キーを押します。

14. 設定が確定し、ネットワーク設定画面に戻ったら、［▼］［▲］キーを押して［本体 IPv4 アドレス］を選択し、［OK］キーを押します。

15. 続けて、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスを設定します。

［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］の選択キーを押し、IPv4 アドレスと同様の手順で設定します。

16. ［メニュー］キーを押します。

17. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

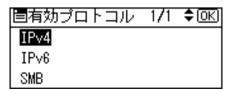
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［ネットワーク設定］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［有効プロトコル］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して使用するプロトコルを選択し、［OK］キーを押します。

4

ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

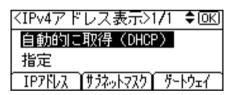
6. [▼][▲]キーを押して[有効]を選択し、[OK]キーを押します。

ご使用にならないプロトコルは[無効]にしておくことをお勧めします。

7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、[キャンセル]キーを押します。

9. [▼][▲]キーを押して[本体 IPv4 アドレス]を選択し、[OK]キーを押します。

10. [▼][▲]キーを押して[自動的に取得(DHCP)]を選択し、[OK]キーを押します。

11. [メニュー]キーを押します。

12. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

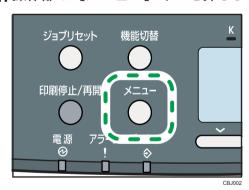
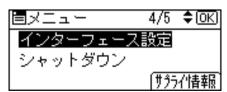
通信速度を設定する

イーサネットの通信速度は、ご使用の環境(接続先の機器)を確認して、以下の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

接続先	本体側				
	10BASE-T 半二重固定 [10Mbps 半二重固定]	10BASE-T 全二重固定 [10Mbps 全二重固定]	100BASE-TX 半二重固定 [100Mbps 半二重固定]	100BASE-TX 全二重固定 [100Mbps 全二重固定]	自動選択 [自動設定]
10BASE-T 半二重固定	○	-	-	-	○
10BASE-T 全二重固定	-	○	-	-	-
100BASE-TX 半二重固定	-	-	○	-	○
100BASE-TX 全二重固定	-	-	-	○	-
オートネゴシエーション（自動選択）	○	-	○	-	○

重要

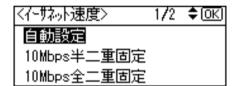
- **インターフェースの種別が一致しないと接続できません。**
- **通常は［自動設定］を選択してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。

インターフェース設定 1/2 OK
受信バッファ
インターフェース切り替え時間
ネットワーク設定

4. [▼] [▲] キーを押して [イーサネット速度] を選択し、[OK] キーを押します。

ネットワーク 2/3 OK
有効プロトコル
イーサネット速度
イーサネット用IEEE 802.1X認証

5. [▼] [▲] キーを押して設定したい通信速度を選択し、[OK] キーを押します。

6. [メニュー] キーを押します。

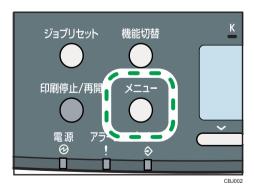
7.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

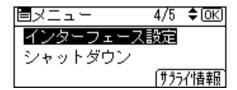
- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

拡張無線 LAN を使用する

重要

- ［無線 LAN］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。
  - 通信モード：インフラストラクチャー
  - SSID 設定：入力値設定なし
  - アドホックチャンネル：11（IEEE 802.11b/g）、36（IEEE 802.11a）
  - セキュリティー方式選択：しない
  - 電波状態
  - 設定値初期化
- 無線 LAN を使用するには、［インターフェース設定］で［無線 LAN］を選択し、［ネットワーク設定］で以下の項目を設定してください。設定方法については、「イーサネットを使用する」を参照してください。
  - ［IPv4 アドレス］
  - ［サブネットマスク］
  - ［IPv4 ゲートウェイアドレス］
  - ［有効プロトコル］
- 拡張無線 LAN は、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

4

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. [▼] [▲] キーを押して [無線 LAN] を選択し、[OK] キーを押します。

インターフェース設定 2/2 [OK]
無線LAN
USB設定

4. [▼] [▲] キーを押して [通信モード] を選択し、[OK] キーを押します。

無線LAN 1/2 [OK]
通信モード
SSID設定
アドホックチャネル

5. [▼] [▲] キーを押して使用する通信モードを選択し、[OK] キーを押します。

<通信モード> 1/1 [OK]
802.11 アドホックモード
インフラストラクチャーモード

6. 選択した通信モードに応じた設定を行います。

[802.11 アドホックモード] を選択した場合

1. 通信に使用するチャンネルを設定します。[▼] [▲] キーを押して [アドホックチャネル] を選択し、[OK] キーを押します。

無線LAN 1/2 [OK]
通信モード
SSID設定
アドホックチャネル

設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。

2. [▼] [▲] キーを押してチャンネル数値を入力し、[OK] キーを押します。

使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを選択してください。

IEEE 802.11 b/g を使用する場合：1〜14

IEEE 802.11a を使用する場合：36、40、44、48

<アドホックチャンネル> 1/2 [OK]

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	36

4

3. 通信に使用する SSID を設定します。[▼][▲] キーを押して [SSID 設定] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [SSID 入力] の選択キーを押します。

設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

5. [入力] の選択キーを押します。

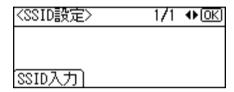
6. スクロールキーで文字を選択して [OK] キーを押し、文字列を入力します。

- SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
- [ABC/123] の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

7. 文字列の入力が完了したら、[入力終了] の選択キーを押します。

［インフラストラクチャーモード］を選択した場合

1. 通信に使用する SSID を設定します。［▼］［▲］キーを押して［SSID 設定］を選択し、［OK］キーを押します。

2. ［SSID 入力］の選択キーを押します。

設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

3. ［入力］の選択キーを押します。

4. スクロールキーで文字を選択して［OK］キーを押し、文字列を入力します。

- SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
- ［ABC/123］の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

5. 文字列の入力が完了したら、［入力終了］の選択キーを押します。

7.［メニュー］キーを押します。

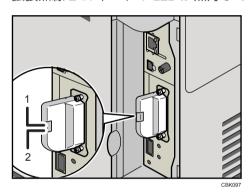
8.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 各項目の設定については、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。
- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

無線 LAN の接続を確認する

カード内蔵型の無線 LAN ボードを取り付けている場合の、拡張無線 LAN の接続を確認する方法を説明します。

拡張無線 LAN ボードの LED が点灯していることを確認してください。

1. **電力が、機器本体から拡張無線 LAN ボードへ正常に供給されると、緑色に点灯します。**
2. **ネットワークに正常に接続していると、オレンジ色に点灯します。**

無線 LAN ご使用時の注意

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報のやりとりを行います。無線 LAN の電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

個人情報の漏洩

- ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

ネットワークへの不正侵入

- ウィルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。

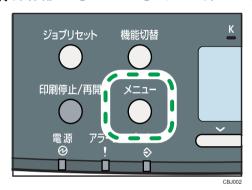
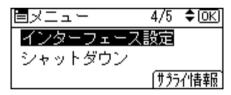
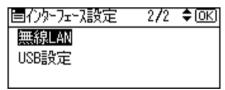
- 機密情報が持ち出される。

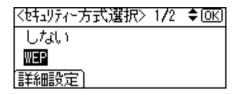
これらの問題が発生する可能性を少なくするためには、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティーに関する設定を行うことをお勧めします。

無線 LAN のセキュリティー方式を設定する

WEP キーを設定する

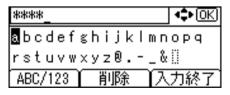
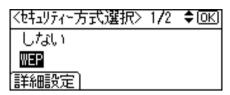
ネットワーク内で WEP キーを使用している場合は、通信に使用する WEP キーを設定します。設定する WEP キーはネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［無線 LAN］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［セキュリティー方式選択］を選択し、［OK］キーを押します。

5. [▼] [▲] キーを押して [WEP] を選択し、[詳細設定] の選択キーを押します。

6. [入力] の選択キーを押します。

7. スクロールキーを押して、WEP キーを入力します。

- 64bit WEP を使用する場合、16 進数では 10 桁、ASCII 文字列では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用する場合、16 進数では 26 桁、ASCII 文字列では 13 桁の文字列が使用できます。
- 入力できる桁数は、16 進数の場合は 10 桁か 26 桁、ASCII 文字列の場合は 5 桁か 13 桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、「入力したキーの文字または桁数が正しくありません。」というメッセージが操作部の画面に表示されます。
- ASCII 文字列の場合、大文字と小文字はそれぞれ別の文字として認識されます。
- [ABC/123] の選択キーを押すと、大文字のアルファベットや数字、記号の入力モードに切り替わります。

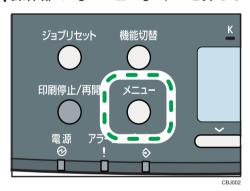
8. WEP キーの入力が完了したら、[入力終了] の選択キーを押します。

9. WEP キーの設定を確定させます。[▼][▲]キーを押して[WEP]を選択し、[OK]キーを押します。

10. [メニュー]キーを押します。

11. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

WPA を設定する

ネットワーク内で WPA を使用している場合は、通信に使用する WPA を設定します。設定する WPA はネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の[メニュー]キーを押します。

2. [▼][▲]キーを押して[インターフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

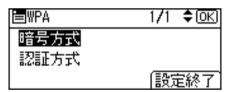
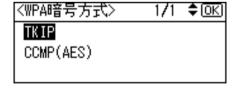
3. [▼] [▲] キーを押して [無線 LAN] を選択し、[OK] キーを押します。

インターフェース設定 2/2 OK
無線LAN
USB設定

4. [▼] [▲] キーを押して [セキュリティー方式選択] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▼] [▲] キーを押して [WPA] を選択し、[詳細設定] の選択キーを押します。

<セキュリティー方式選択> 2/2 OK
WPA
詳細設定

6. [▼] [▲] キーを押して [暗号方式] を選択し、[OK] キーを押します。

7. [▼] [▲] キーを押して使用する暗号方式を選択し、[OK] キーを押します。

暗号方式の設定値は次のとおりです。

- TKIP

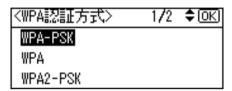
  アルゴリズムに WEP と同じ RC4 を用いながら鍵の攪拌等により脆弱性を下げることができます。

- CCMP (AES)

  AES (Advanced Encryption Standard) を使用することにより更にセキュリティーを高められます。

8. [▼] [▲] キーを押して [認証方式] を選択し、[OK] キーを押します。

9. [▼] [▲] キーを押して使用する認証方式を選択し、[OK] キーを押します。

<WPA認証方式> 1/2 OK
WPA-PSK
WPA
WPA2-PSK

認証方式の設定値は次のとおりです。

- WPA-PSK

  アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8〜63 桁の ASCII 文字列を設定します。

  PSK を入力する画面が表示されたら [入力] キーを押し、スクロールキーを押して入力します。

- WPA

  証明書の導入の設定画面で [設定する] か [しない] を選択します。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.103「IEEE 802.1X を設定する」を参照してください。

- WPA2-PSK

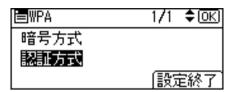
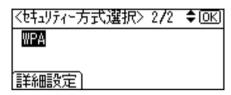
  WPA-PSK と同じく、アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8〜63 桁の ASCII 文字列を設定します。

  PSK を入力する画面が表示されたら [入力] キーを押し、スクロールキーを押して入力します。

- WPA2

  WPA2 は、WPA の追加仕様で、IEEE 802.11i へ完全対応しています。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.103「IEEE 802.1X を設定する」を参照してください。

10. ［設定終了］の選択キーを押します。

11. WPA の設定を確定させます。［▼］［▲］キーを押して［WPA］を選択し、［OK］キーを押します。

12. ［メニュー］キーを押します。

13. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

IEEE 802.1X を設定する

セキュリティー向上のために IEEE 802.1X を設定する方法について説明します。

IEEE 802.1X は、Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

IEEE 802.1X は、WPA-PSK/WPA2-PSK に比べ認証サーバーを利用することで更にセキュリティーの向上を図っています。

EAP タイプ（認証方式）は、EAP-TLS、LEAP、EAP-TTLS、PEAP の 4 つの種類を選択できますが、各 EAP タイプで証明書の要／不要、設定項目が異なります。ご注意ください。

証明書の種類、および要／不要については次のとおりです。

「サイト証明書」が必要な EAP タイプ

EAP-TLS、EAP-TTLS、および PEAP（LEAP 以外は必要です）

「サイト証明書」および「機器証明書」が必要な EAP タイプ

EAP-TLS、PEAP（フェーズ 2 メソッドが“TLS”のみ）

証明書が必要な場合は、証明書の導入を済ませた上で各項目の設定を行ってください。

サイト証明書の導入手順

認証局サーバーにアクセスし、「CA 証明書」を入手します。

証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**
2. **メニューエリアの［設定］をクリックします。**
3. **「セキュリティー」の［サイト証明書］をクリックします。**
4. **「インポートするサイト証明書」の［参照］をクリックし、入手した「CA 証明書」を選択します。**
5. **［インポート］をクリックします。**
6. **インポートした証明書の状態が「信頼できる」であることを確認します。**

   「サイト証明書チェック機能」が［有効］になっていて、証明書の状態が「信頼できない」場合、通信できなくなることがあります。
7. **［OK］をクリックします。**
8. **［ログアウト］をクリックします。**
9. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

機器証明書の導入手順

機器証明書を導入する方法について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。
2. メニューエリアの［設定］をクリックします。
3. 「セキュリティー」の［機器証明書］をクリックします。

4. 「機器証明書」画面で「証明書 2」を選択し、［要求］をクリックします。
5. 「証明書項目内容入力」画面で「共通名称」、「国コード」に適切な値を入力し、［OK］をクリックします。
6. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから［OK］をクリックします。
7. 「機器証明書」画面で、「要求中」である証明書の［詳細］（メモ型のアイコン）をクリックします。
8. 「証明書詳細情報」画面の「証明書要求用文字列」内のテキストをすべてコピーします。
9. 認証局サーバーにアクセスし、コピーした「証明書要求用文字列」を使用して「CA 署名済み証明書」を入手します。

   証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。
10. 「機器証明書」画面で、「証明書 2」を選択し、［導入］をクリックします。
11. 手順 9 でダウンロードした「CA 署名済み証明書」をテキストエディタで開き、書かれているものをすべてコピーします。
12. 「証明書要求の入力」画面で、コピーした「CA 署名済み証明書」の内容をすべて貼り付けます。
13. ［OK］をクリックします。
14. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから［OK］をクリックします。
15. 「機器証明書」画面で、証明書の状態が「導入済み」になっていることを確認します。
16. 「利用する証明書」で、IEEE 802.1X に［証明書 2］を選択して［OK］をクリックします。
17. ［ログアウト］をクリックします。

18. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 「機器証明書」画面で「証明書 1」と「証明書 2」はどちらも選択できますが、「証明書 1」を選択した場合は「利用する証明書」の「IEEE 802.1X」のドロップダウンメニューで［証明書 1］を選択してください。
- 二つの証明書の要求を同時に行うと、証明書の発行先が表示されない場合があります。
- 証明書の要求を取りやめる場合は、［取りやめ要求］をクリックします。
- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。
- 手順 6 や手順 14 で［OK］をクリックしたあとに「該当ページが見つかりません。」と表示された場合は、さらに 1~2 分待ってからブラウザーの［更新］をクリックしてください。

イーサネットで IEEE 802.1X を使用する

イーサネットで IEEE 802.1X を使用するための設定について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3. 「セキュリティー」の［IEEE 802.1X］をクリックします。

4. 「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5. 「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6. 「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

- お使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS）」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

PEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

  「フェーズ 2 メソッド」で［TLS］を選択する場合は、パスワードの設定は不要です。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP）」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

7. ［OK］をクリックします。

8. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから［OK］をクリックします。

9. メニューエリアの［設定］をクリックします。

10. 「インターフェース」の［インターフェース設定］をクリックします。

11. 「イーサネット」の「セキュリティ（802.1X)」で［有効］を選択します。

12. ［OK］をクリックします。

13. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1~2 分経過してから［OK］をクリックします。

14. ［ログアウト］をクリックします。

15. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなることがあります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用する

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3. 「セキュリティー」の［IEEE 802.1X］をクリックします。

4. 「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5. 「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6. 「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

- お使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS）」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

PEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

  「フェーズ 2 メソッド」で［TLS］を選択する場合は、パスワードの設定は不要です。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP）」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

7.［OK］をクリックします。

8.「設定の書き換え中」画面が表示されます。1〜2 分経過してから［OK］をクリックします。

9.メニューエリアの［設定］をクリックします。

10.「インターフェース」の［無線 LAN 設定］をクリックします。

11.「ネットワークインターフェース選択」に［無線 LAN］を選択します。

12.「通信モード」に［インフラストラクチャーモード］を選択します。

13.「SSID」をご利用のアクセスポイントに合わせて入力します。

14.「セキュリティー方式」に［WPA］を選択します。

15.「WPA 暗号方式」を、ご利用のアクセスポイントに合わせて選択します。

16. 「WPA 認証方式」に、[WPA] を選択します。

17. [OK] をクリックします。

18. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから [OK] をクリックします。

19. 管理者モードから [ログアウト] します。

20. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなることがあります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

5. 用紙のセット

本機で使用できる用紙の種類やサイズ、用紙のセット方法について説明します。

使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズと最大セット枚数について説明します。

用紙はすべて縦方向にセットしてください。

海外向けサイズの用紙は以下のとおり表示されます。

本書の表記	Legal	Letter	Half Letter
操作部の表示	8 1/2×14	8 1/2×11	5 1/2×8 1/2
RPCS プリンタードライバーの表示	Legal（8.5”×14”）	Letter （8.5”×11”）	5.5”×8.5”

5

給紙トレイ［トレイ 1］

用紙の種類	給紙トレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。定形サイズの用紙種類の設定については P.138「給紙トレイで用紙種類を設定する」を参照してください。 普通紙 薄紙 中厚口 厚紙 1 厚紙 2 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 1 特殊紙 2 コート紙（マット加工） コート紙（グロス加工） 色紙 印刷済み紙 再生紙
用紙サイズ	給紙トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。用紙サイズの設定については P.136「給紙トレイで定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。 A4▯、A5▯、B5▯、Legal▯、Letter▯、不定形サイズ

不定形サイズ	給紙トレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • 幅 148〜216mm • 長さ 210 〜356mm 不定形サイズで印刷する場合には、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.137「給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	60〜163g/m^2（52〜140kg）
最大セット枚数	500 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示を超えないようにしてください。

補足

- 長さ 297 ㎜を超えるサイズの用紙を両面印刷する場合は、他の用紙サイズを両面印刷するときに比べて、印刷速度が遅くなります。

5

500 枚増設トレイ［トレイ 2］

用紙の種類	500 枚増設トレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。 普通紙 薄紙 中厚口 厚紙 1 レターヘッド付き用紙 色紙 印刷済み紙 再生紙
用紙サイズ	500 枚増設トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。 A4、Letter
用紙厚	60〜105g/m^2（52〜90kg）
最大セット枚数	500 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示を超えないようにしてください。

手差しトレイ

用紙の種類	手差しトレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。定形サイズの用紙種類の設定については P.145「手差しトレイで用紙種類を設定する」を参照してください。 普通紙 薄紙 中厚口 厚紙 1 厚紙 2 厚紙 3 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 1 特殊紙 2 特殊紙 3 コート紙（マット加工） コート紙（マット加工：厚紙） コート紙（グロス加工） コート紙（グロス加工：厚紙） 封筒 色紙 印刷済み紙 再生紙
用紙サイズ	手差しトレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。定形サイズの用紙サイズの設定については P.142「手差しトレイで定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。 A4▯、A5▯、A6▯、B5▯、B6▯、郵便ハガキ▯、往復ハガキ▯、Legal▯、Letter▯、Half Letter▯、不定形サイズ
不定形サイズ	手差しトレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • 幅 64〜216mm • 長さ 125〜1260mm 不定形サイズで印刷する場合には、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.142「手差しトレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	60〜220g/m^2（52〜189kg）
最大セット枚数	100 枚 セットする用紙の量は、用紙ガイドに収まる枚数をセットしてください。

補足

- 幅 90mm より小さいサイズの用紙をセットする場合は、必ず［用紙幅 64–90mm の手差し印刷］を［有効］にしてください。詳しくは、P.144「手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙を使用する場合の設定方法」を参照してください。

- 不定形サイズで、幅 89 ㎜以下の用紙に印刷するときは、210 ㎜以下の長さの用紙を使用してください。
- 長さ 297 ㎜を超えるサイズの用紙を両面印刷する場合は、他の用紙サイズを両面印刷するときに比べて、印刷速度が遅くなります。

用紙の種類ごとの注意

本機で使用できる用紙種類について説明します。トレイに用紙をセットする場合は、その他の注意を確認してから使用してください。

普通紙

紙の厚さ	66～74g/m^2（57～77kg）
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［表示しない（普通紙）］を選択
プリンタードライバーの設定	［普通紙／再生紙］または［普通紙（66 から 74 g/m^2)］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

薄紙

紙の厚さ	60～65g/m^2 （52～56kg）
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［薄紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［薄紙（60 から 65 g/m^2)］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

中厚口

紙の厚さ	75～90g/m^2（64～ 77kg）
操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［中厚口］を選択
プリンタードライバーの設定	［中厚口（75 から 90 g/m^2)］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

厚紙（厚紙 1・厚紙 2・厚紙 3）

紙の厚さ	91～220g/m^2（78～ 189kg）
操作部の設定	• ［厚紙 1］：［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［厚紙 1］を選択 • ［厚紙 2］：［用紙設定］→［用紙種類設定：トレイ 1］または［用紙種類設定：手差しトレイ］→［厚紙 2］を選択 • ［厚紙 3］：［用紙設定］→［用紙種類設定：手差しトレイ］→［厚紙 3］を選択 • ［厚紙 1］：91～105g/m^2（78～90kg） • ［厚紙 2］：106～163g/m^2（91～140kg） • ［厚紙 3］：164～220g/m^2（141～189kg）
プリンタードライバーの設定	• ［厚紙 1］：［厚紙 1（91 から 105 g/m^2)］ • ［厚紙 2］：［厚紙 2（106 から 163 g/m^2)］ • ［厚紙 3］：［厚紙 3（164 から 220 g/m^2)］
給紙可能トレイ	• ［厚紙 1］：すべてのトレイ • ［厚紙 2］：［トレイ 1］または［手差しトレイ］ • ［厚紙 3］：［手差しトレイ］
両面印刷	不可
その他の注意	印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

レターヘッド付き用紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［レターヘッド］を選択
プリンタードライバーの設定	［レターヘッド付き用紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	不可

ラベル紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：トレイ 1］または［用紙種類設定：手差しトレイ］→［ラベル紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［ラベル紙］
給紙可能トレイ	［トレイ 1］または［手差しトレイ］
両面印刷	不可

コート紙（マット加工）

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：トレイ 1] または [用紙種類設定：手差しトレイ] →[コート紙（マット加工)] を選択
プリンタードライバーの設定	[コート紙（マット加工)]
給紙可能トレイ	[トレイ 1] または [手差しトレイ]
両面印刷	可

コート紙（マット加工：厚紙）

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：手差しトレイ] →[コート紙(マット加工 ： 厚紙)] を選択
プリンタードライバーの設定	[コート紙（マット加工： 厚紙)]
給紙可能トレイ	[手差しトレイ]
両面印刷	不可

コート紙（グロス加工）

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：トレイ 1] または [用紙種類設定：手差しトレイ] →[コート紙（グロス加工)] を選択
プリンタードライバーの設定	[コート紙（グロス加工)]
給紙可能トレイ	[トレイ 1] または [手差しトレイ]
両面印刷	可

コート紙（グロス加工：厚紙）

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：手差しトレイ] →[コート紙（グロス加工 ： 厚紙)] を選択
プリンタードライバーの設定	[コート紙（グロス加工： 厚紙)]
給紙可能トレイ	[手差しトレイ]
両面印刷	不可

特殊紙（特殊紙 1・特殊紙 2・特殊紙 3）

操作部の設定	• ［特殊紙 1］、［特殊紙 2］：［用紙設定］→［用紙種類設定：トレイ 1］または［用紙種類設定：手差しトレイ］→［特殊紙 1］または［特殊紙 2］を選択 • ［特殊紙 3］：［用紙設定］→［用紙種類設定：手差しトレイ］→［特殊紙 3］を選択
プリンタードライバーの設定	• ［特殊紙 1］：［特殊紙 1］ • ［特殊紙 2］：［特殊紙 2］ • ［特殊紙 3］：［特殊紙 3］
給紙可能トレイ	• ［特殊紙 1］、［特殊紙 2］：［トレイ 1］または［手差しトレイ］ • ［特殊紙 3］：［手差しトレイ］
両面印刷	• ［特殊紙 1］、［特殊紙 2］：可 • ［特殊紙 3］：不可

印刷済み紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［印刷済み紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［印刷済み紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

色紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［色紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［色紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

再生紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［再生紙］を選択

プリンタードライバーの設定	［再生紙］または［普通紙／再生紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

封筒

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：手差しトレイ］→［封筒］を選択
プリンタードライバーの設定	［封筒］
給紙可能トレイ	手差しトレイ
両面印刷	不可
その他の注意	• 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。封筒の厚さが均一でない場合は、きれいに印刷できないことがあります。 • 異なる種類の封筒や印刷方向を混在させて印刷しないでください。 • 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはシワが発生したりするなど、正しく印刷されないことがあります。特に湿度の高い環境では、シワが発生しやすくなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。 • セットする封筒の量は、用紙ガイドを超えないようにしてください。 • 印刷時のしわの発生を防ぐために、印刷するときは、プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［基本］メニューを選択し、［原稿方向：］で［180 度回転］を選択してください。 • 正しく保管されていない封筒を使用した場合、しわや印刷品質の低下の原因になることがあります。 • 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りする場合に、封筒の用紙が重なりあっている部分にスジが入ることがあります。 • 封筒のサイズを設定するときは、短辺側にフラップがある封筒は、フラップが開いた状態の長さを指定してください。

郵便はがき

操作部の設定	次の 2 つを設定します。 • [用紙設定] →[用紙種類設定：手差しトレイ] →[厚紙 2] を選択 • [用紙設定] →[用紙サイズ設定：手差しトレイ] →[郵便ハガキ] または [往復ハガキ] を選択
プリンタードライバーの設定	次の 2 つを設定します。 • [用紙] メニュー→[用紙種類] →[厚紙 2（106 から 163 g/m^2）] を選択 • [基本] メニュー→[印刷用紙サイズ] →[郵便ハガキ（100×148mm）] または [往復ハガキ（148×200mm）] を選択
給紙可能トレイ	[手差しトレイ]
用紙セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。手差しトレイの用紙ガイドの上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷	不可
その他の注意	• 印刷速度が普通紙より遅くなります。 • 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。 • 郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、郵便はがきを平らなところに置き、定規などを水平に 1～2 回動かして、郵便はがきの 4 辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払います。 • はがきの両面に印刷するときは、裏面→宛名面の順で印刷してください。宛名面を先に印刷した場合、裏面はトナーがかすれたり、色むらができることがあります。 • よりきれいに印刷するためには、裏面から先に印刷し、宛名面は後から印刷することをお勧めします。 • 以下のはがきは印刷できません。 　• インクジェットプリンター専用はがき 　• 絵はがきなどの厚いはがき 　• 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき 　• 他のプリンターで一度印刷したはがき 　• 表面加工されているはがき 　• 表面に凸凹のあるはがき

用紙を保管するとき

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 湿気の多い所には置かない。
- 直射日光の当たる所には置かない。
- 立て掛けない。

- 残った用紙は、購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

使用できない用紙

重要

- **市販されているすべての用紙での印刷結果を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- **リコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙については、P.235「消耗品一覧」を参照してください。**
- **インクジェット専用紙はセットしないでください。定着ユニットへの用紙の巻き付きが発生し、故障の原因になります。**

以下のような用紙は使用しないでください。

- インクジェット専用紙
- ジェルジェット専用紙
- しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙

  他の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 汚れている用紙
- OHP 用紙
- 写真用のはがき、インクジェット用のはがき
- 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき
- 私製はがき

  絵はがきなどの厚いはがき、絵入りはがきなど裏写り防止用の粉のついているはがき、他のプリンターで一度印刷したはがき、表面加工されているはがき、表面に凹凸のあるはがき

補足

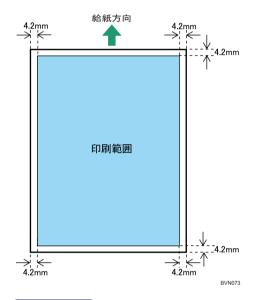
- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。
- パンチ穴など穴のある用紙を使用すると、紙づまりや用紙サイズの誤検知がおこる場合があります。
- プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

印刷範囲

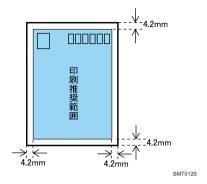
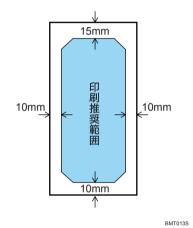
本機では、用紙やはがき、封筒などで印刷範囲が異なります。使用する用紙種類ごとの印刷範囲を説明します。

補足

- 本機では、プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては印刷範囲外の余白まで印刷することができますが、推奨する印刷範囲に含まれていません。
- 縁無し印刷には対応していません。

用紙

補足

- 手差しトレイでは、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。
- 長さ 900mm より大きい長尺紙を印刷する場合は、印刷範囲を上 4.2mm、下と左右を 10mm より大きく設定してください。

はがき

封筒

補足

- 封筒の表面（宛名の面）の上図の範囲（印刷推奨範囲）に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

用紙をセットする

給紙トレイや増設トレイ、手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする

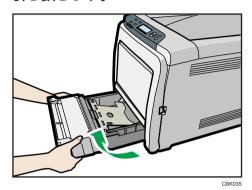
重要

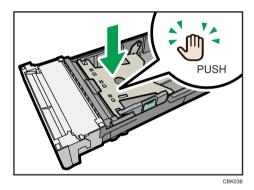
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 用紙は、印刷面を上にしてタテ方向にセットしてください。
- 用紙をセットしてから、操作部で用紙の種類、用紙サイズを指定してください。本機は、トレイにセットされた用紙サイズを自動検知しないため、操作部で用紙のサイズを設定する必要があります。
- 手差しトレイを閉じてから、給紙トレイを引き抜いてください。
- サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- トレイは必ず水平に入れてください。斜めに入れると故障の原因になります。
- 用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドがずれることがあります。
- 用紙がカールしている場合は、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- 用紙をセットする場合に、用紙の表面に触れないように注意してください。
- 不定形サイズの用紙を使用するときは、試しに用紙を 1 枚セットして、サイドガイドとエンドガイドの調整をしてください。

5

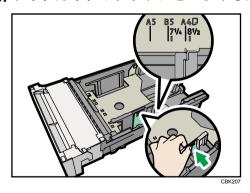
給紙トレイ（トレイ 1） に用紙をセットする

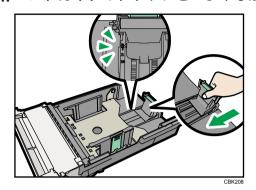
1. 給紙トレイの前面を持ち上げてゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

CBK035

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

2. 底板の「PUSH」部分をロックされる位置まで押し下げます。

CBK036

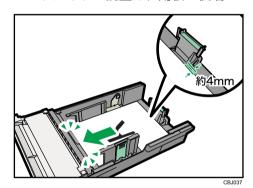
3. サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

CBK207

不定形サイズの用紙を使用するときは、試しに用紙を 1 枚セットして、サイドガイドを実際の用紙サイズよりもわずかに広くしてください。

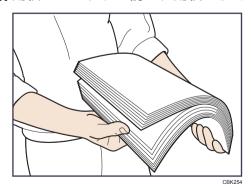
4. **エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。**

CBK208

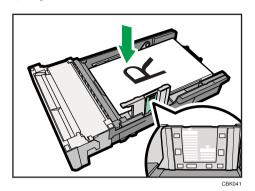
- 不定形サイズの用紙を使用するときは、1 枚セットした用紙の先端を給紙トレイの前壁に合わせてください。
- エンドガイドの調整は、用紙の後端から約 4mm 広くした位置で行ってください。

CBJ037

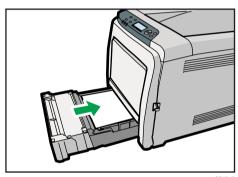
補足

- エンドガイドは、用紙縦方向（前後方向）に遊びがあります。エンドガイドの位置を合わせる場合は、エンドガイドを後方向に押さえた状態で行ってください。

5. **用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。**

CBK254

6. 新しい用紙をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

セットする用紙の量は、給紙トレイの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

CBK041

セットする用紙の量は、サイドガイドの突起を超えないようにしてください。

7. 給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

CBK045

紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

補足

- 給紙トレイにセットできる用紙については、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

延長ガイドを使用する

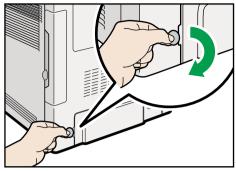
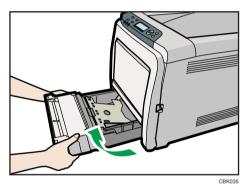
給紙トレイに長さが297mmを超える用紙をセットするときは、延長ガイドを使用します。

重要

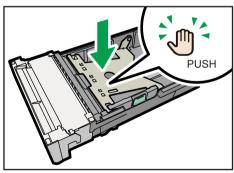
- **サイドガイドまたはエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。**
- **トレイは必ず水平に入れてください。斜めに入れるとプリンターの故障の原因となります。**

5

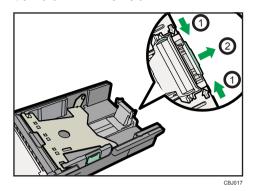
1. コインを使って、背面カバーを取り外します。

CBK102

2. 給紙トレイの前面を持ち上げてゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

CBK035

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

3. 底板の「PUSH」部分を、ロックされる位置まで押し下げます。

CBK036

4. 延長ガイドを「PUSH」の方向につまみながら（①）、カチッと音がするまで引き出します（②）。

CBJ017

引き出した延長ガイドの矢印と、トレイの位置が合っていることを確認してください。

CBK104

5. サイドガイドのクリップをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

CBJ039

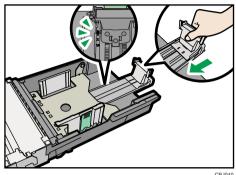
不定形サイズの用紙を使用するときは、試しに用紙を 1 枚セットして、サイドガイドを実際の用紙サイズよりもわずかに広くしてください。

6. エンドガイドのクリップをつまみながら内側にずらし、セットする用紙のサイズに合わせます。

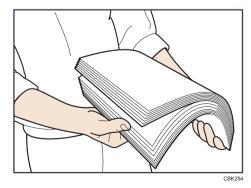
CBJ040

- 不定形サイズの用紙を使用するときは、1 枚セットした用紙の先端を給紙トレイの前壁に合わせてください。
- エンドガイドの調整は、用紙の後端から約 4mm 広くした位置で行ってください。

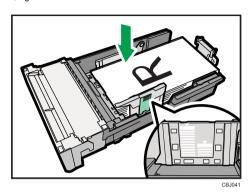
CBJ038

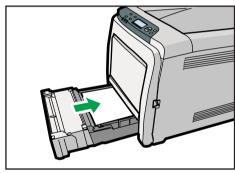
補足

- エンドガイドは、用紙縦方向（前後方向）に遊びがあります。エンドガイドの位置を合わせる場合は、エンドガイドを後方向に押さえた状態で行ってください。

7. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。

CBK254

8. **新しい用紙をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

セットする用紙の量は、給紙トレイ内側にある上限表示を超えないようにしてください。

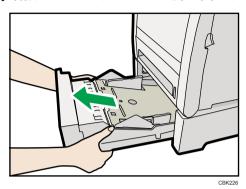
CBJ041

セットする用紙の量は、サイドガイド内側にある突起を超えないようにしてください。

9. **給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。**

CBK045

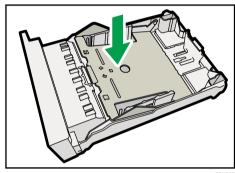
紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

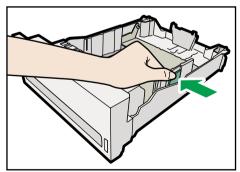
- 延長ガイドを元に戻すときは、戻す方向にカチッと音がするまで少し強めに押してください。

増設トレイ（トレイ 2）に用紙をセットする

1. 増設トレイをゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

CBK226

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

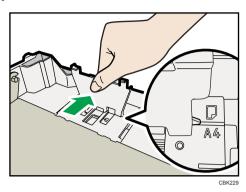
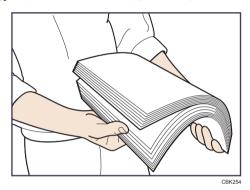
2. 底板をカチッと音がするまで押し込みます。

CBK227

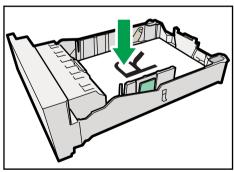
3. サイドガイドのクリップをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

CBK228

4. エンドガイドのクリップをつまみながら、矢印を用紙サイズに合わせます。

CBK229

5. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。

CBK254

6. 新しい用紙をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

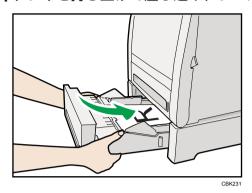
セットする用紙の量は、増設トレイ内側にある上限表示を越えないようにしてください。

CBK230

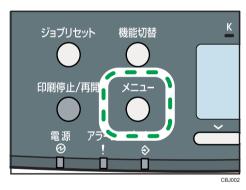
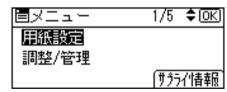
7. トレイを持ち上げて差し込み、レールに沿って押し込みます。

CBK231

紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

補足

5

- 増設トレイにセットできる用紙については、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

給紙トレイで定形サイズの用紙を設定する

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

CBJ002

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。

4. スクロールキーを押して、セットした用紙サイズを選択し、［OK］キーを押します。

5. ［メニュー］キーを押します。

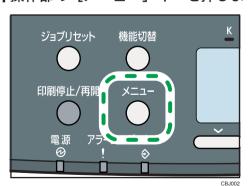
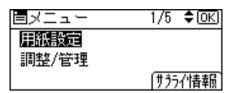
補足

- 給紙トレイで印刷できる用紙サイズについては、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する

重要

- **不定形サイズの用紙を印刷するときは、必ず操作部およびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。**
- **不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

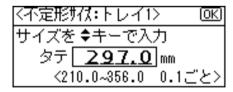
3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。

用紙設定 1/3 OK
用紙サイズ設定:手差しトレイ
用紙サイズ設定:トレイ 1
用紙種類設定:手差しトレイ

4. スクロールキーを押して［不定形サイズ］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、［OK］キーを押します。

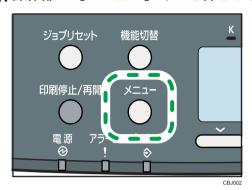
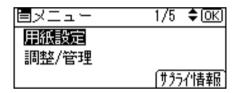
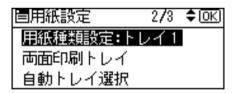
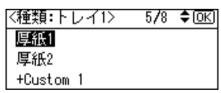
<不定形サイズ:トレイ1> OK
サイズを キーで入力
ヨコ 210.0 mm
<148.0~216.0 0.1ごと>

6. ［▼］［▲］キーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、［OK］キーを押します。

7. ［メニュー］キーを押します。

給紙トレイで用紙種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.154「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙種類設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押してセットした用紙の種類を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［メニュー］キーを押します。

手差しトレイに用紙をセットする

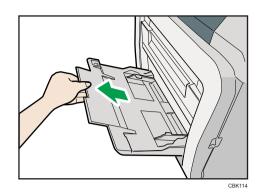
重要

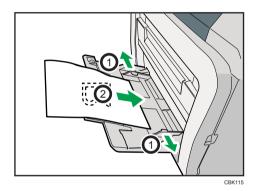
- セットした用紙の用紙サイズとセット方向を、操作部とプリンタードライバーで正しく設定してください。それぞれの設定が異なる場合は、紙づまりの発生や、印刷品質への影響が出ることがあります。
- 用紙をセットしてから、操作部で用紙の種類、用紙サイズを指定してください。本機は、トレイにセットされた用紙サイズを自動検知しないため、操作部で用紙のサイズを設定する必要があります。
- 用紙は、印刷面を下にしてタテ方向にセットしてください。
- 異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 本機に給紙トレイがセットされていない状態では印刷できません。
- 手差しトレイにセットするときは、用紙が用紙ガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- 用紙がカールしている場合は、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- 動作中に用紙をセットしないでください。
- 手差しトレイが開いているときは、給紙トレイの引き出しや前カバーの開閉はできません。

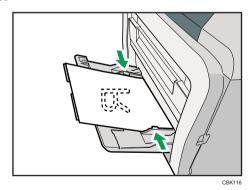
1. 手差しトレイの中央部分をもち、手前に引きます。

CBK112

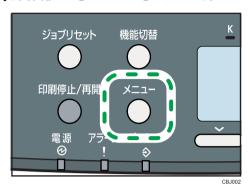
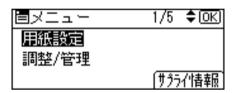
Legal サイズやそれ以上の長さの用紙をセットするときは、延長ガイドを引き出します。

CBK114

2. 用紙ガイドを広げ、印刷する面を下にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます。

CBK115

3. 用紙ガイドを用紙に押し当てます。

CBK116

補足

- セットした用紙が用紙ガイドの上限表示を超えていないことを確認してください。
- 手差しトレイにセットできる用紙については、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

手差しトレイで定形サイズの用紙を設定する

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：手差しトレイ］を選択し、［OK］キーを押します。

用紙設定 1/3 OK
用紙ｻｲｽﾞ設定:手差しトレイ
用紙ｻｲｽﾞ設定:トレイ1
用紙種類設定:手差しトレイ

4. スクロールキーを押して、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択し、［OK］キーを押します。

<用紙ｻｲｽﾞ:手差し> 1/2 OK
A4 B5
A5 B6
A6 8½x14

5. ［メニュー］キーを押します。

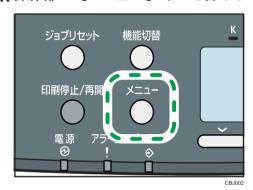
手差しトレイで不定形サイズの用紙を設定する

重要

- 不定形サイズの用紙を印刷するときは、必ず操作部またはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。

- 不定形サイズの設定は、操作部での設定よりもプリンタードライバーでの設定が優先されます。プリンタードライバーで用紙サイズを設定している場合は、操作部からの設定は不要です。
- ［用紙設定］の［優先給紙トレイ］設定で、優先的に給紙するトレイを設定している場合は、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が優先されます。
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。
- 幅 90mm より小さいサイズの用紙をセットする場合は、必ず［用紙幅 64–90mm の手差し印刷］を［有効］にしてください。詳しくは、P.144「手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙を使用する場合の設定方法」を参照してください。

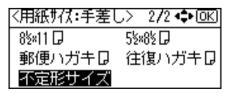
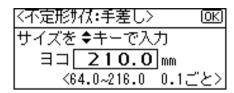
1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

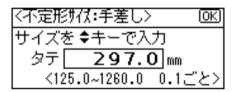
CBJ002

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

メニュー 1/5 OK
用紙設定
調整/管理
サプライ情報

3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：手差しトレイ］を選択し、［OK］キーを押します。

用紙設定 1/3 OK
用紙サイズ設定:手差しトレイ
用紙サイズ設定:トレイ 1
用紙種類設定:手差しトレイ

4. スクロールキーを押して［不定形サイズ］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、［OK］キーを押します。

幅 90mm より小さいサイズの用紙をセットする場合は、［用紙幅 64–90mm の手差し印刷］を［有効］にしてください。詳しくは、P.144「手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙を使用する場合の設定方法」を参照してください。

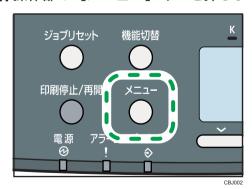
6. ［▼］［▲］キーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、［OK］キーを押します。

7. ［メニュー］キーを押します。

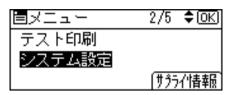
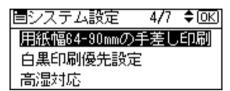
手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙を使用する場合の設定方法

重要

- **幅 90mm より小さい用紙を使用して印刷する場合のみ［有効］に設定してください。それ以外の用紙で印刷する場合は、［無効］に設定してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

CBJ002

5

2. [▼][▲]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

3. [▼][▲]キーを押して[用紙幅 64-90mm の手差し印刷]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▼][▲]キーを押して[有効]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [メニュー]キーを押します。

- [用紙幅 64-90mm の手差し印刷]を[有効]に設定して印刷中に用紙がなくなったときは、用紙を補給したあと[OK]キーを押してください。

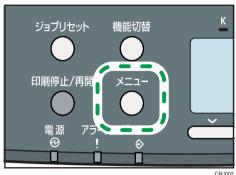
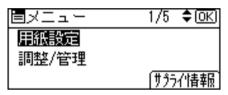
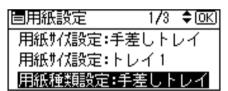
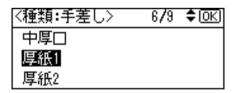
手差しトレイで用紙種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.154「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

重要

- **厚紙を手差しトレイにセットしたときは、必ず用紙の種類を設定してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙種類設定：手差しトレイ］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押してセットした用紙の種類を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［メニュー］キーを押します。

5

封筒または郵便はがきをセットする

本機では、手差しトレイで封筒または郵便はがきを印刷することができます。

封筒をセットする

手差しトレイに封筒をセットする方法を説明します。

重要

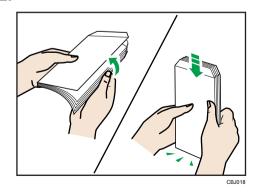
- **封筒をおさえて中の空気を抜いてからセットしてください。**
- **セットする封筒のサイズと種類は 1 種類にしてください。**
- **封筒の進行方向側の端に鉛筆や定規を当てて、平らにしてからセットください。**
- **印刷面を下にし、短辺側にフラップ（ふた）がある場合は、開いた状態のフラップを手前にして、セットしてください。フラップが長辺側にある場合は、閉じた状態のフラップがトレイ奥側に向かって左側になるようにセットしてください。**

5

1. 手差しトレイの中央部分をもち、手前に引きます。

CBK112

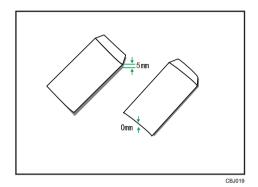
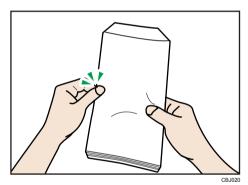
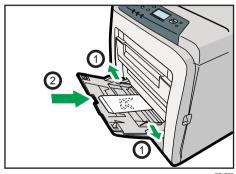
2. 封筒をセットする前に、封筒をさばいて端をそろえます。

CBJ018

さばくときに、封筒どうしが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。

さばくときに、フラップが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。

封筒が反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。それでも反りが大きい場合は、封筒のカールしている部分を図のように指でのして曲がりを直してください。

CBJ019

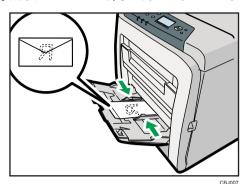
CBJ020

3. 印刷面を下にして、封筒をセットします。

CBJ006

封筒のフラップ（ふた）の位置により、セット方向が変わります。

短辺側にフラップがある場合は、開いた状態のフラップを手前に向けます。長辺側にフラップがある場合は、閉じた状態のフラップがトレイ奥側に向かって左側になるようにセットしてください。

セットする封筒の量は、用紙ガイドを超えないようにしてください。

4. 用紙ガイドを封筒に押し当てます。

CBJ007

補足

- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。

郵便はがきをセットする

手差しトレイに郵便はがきをセットする方法を説明します。

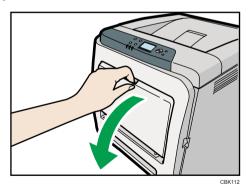
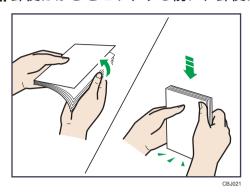
重要

- **印刷面を下にしてセットしてください。**

1. 手差しトレイの中央部分をもち、手前に引きます。

CBK112

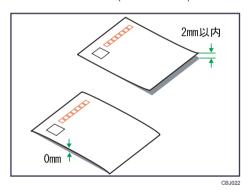
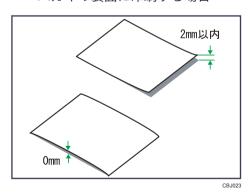
2. 郵便はがきをセットする前に、郵便はがきをさばいて端をそろえます。

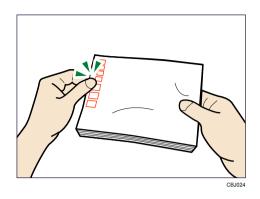
CBJ021

郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。

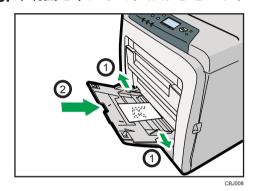
- ハガキの表面(宛先記入面)に印刷する場合

CBJ022

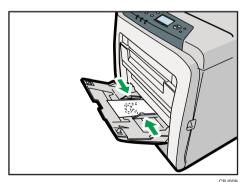
- ハガキの裏面に印刷する場合

CBJ023

郵便はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。

CBJ024

3. 印刷面を下にして、はがきをセットします。

CBJ008

セットするはがきの量は、用紙ガイドの内側にある「厚紙」の積載量のマークを越えないようにしてください。

4. 用紙ガイドをはがきに押し当てます。

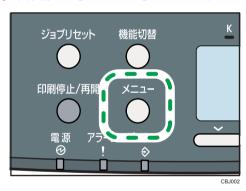
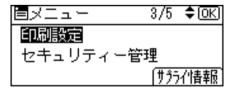
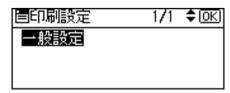
CBJ009

天地の向き、表裏のある用紙に印刷する

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏のある用紙は、正しく印刷されないことがあります。正しく印刷する方法を説明します。

操作部とドライバーで、用紙のセット方向と［レターヘッド紙の使用設定］を組み合わせることで、必ず一定方向に印刷できます。

用紙のセット方向	トレイ 1~2		手差しトレイ	
	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合
片面印刷	ABC	ABC	ABC	ABC

レターヘッド紙で印刷する場合は、必ず印刷設定を変更してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［印刷設定］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［一般設定］を選択し、［OK］キーを押します。

4. [▼] [▲] キーを押して [レターヘッド紙使用設定] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▼] [▲] キーを押して設定を変更し、[OK] キーを押します。

設定内容は以下のとおりです。

使用する(常時)	常に一定方向に印刷します。
使用する(自動判定)	プリンタードライバーで、用紙種類が [レターヘッド] を選択している時だけ、一定方向に印刷します。
使用しない	用紙種類やプリンタードライバーのセッティングに関係なく、一定の用紙方向に印刷されます。

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

用紙に独自の名前をつけて使用する

本機では、Web Image Monitor を使って、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録することができます。この機能を使うことで、用途にあった用紙種類や設定を簡単に選択することができます。

重要

- **この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。**
- **本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。**
- **RPCS プリンタードライバーで使用できます。**
- **ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。**

補足

- 双方向通信の働く条件に関しては、『ドライバーインストール手順書』「双方向通信が働く条件」を参照してください。

5

用紙種類に名前をつけて登録する

Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

重要

- **ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されない場合があります。**
- **英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。**

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

2. 画面左のメニューから［設定］をクリックします。

3. ［機器］エリアの［ユーザー用紙種類］をクリックします。

4. 以下の項目を設定します。

はがきに印刷する場合を例にして説明します。

- 用紙名称：用紙の用途を判別できるような名称を入力します。

  「ハガキ」と入力します。

- 用紙種類：用途にあった用紙の種類をドロップダウンメニューから選びます。

  ［厚紙 2（106〜163g/m^2)］を選択します。はがきを印刷する場合は、用紙種類として［厚紙 2（106〜163g/m^2)］を設定しておきます。設定が不適切な場合、紙詰まりなどの原因になります。

5. ［OK］をクリックします。

補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 使用する用紙と用紙種類との関係については、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

トレイにユーザー用紙種類を設定する

各給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、各給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor、または本機の操作部を使って、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

Web Image Monitor からトレイの設定をする

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。
2. 画面左のメニューから［設定］をクリックします。
3. ［機器］エリアの［用紙］をクリックします。
4. 設定したいトレイの［用紙種類：］をユーザー用紙種類にして、登録しておいた用紙種類の名称を選びます。

ここでは例として、手差しトレイにユーザー用紙種類「ハガキ」を設定しました。用紙登録については、P.154「用紙種類に名前をつけて登録する」を参照してください。

必要に応じてその他の項目を設定します。

5. [OK] をクリックします。

6. [ログアウト] をクリックします。

7. Web ブラウザーを閉じます。

補足

- 各給紙トレイに用紙をセットする方法については、P.126「用紙をセットする」を参照してください。
- 用紙種類を本機の操作部から設定する方法については、P.138「給紙トレイで用紙種類を設定する」または P.145「手差しトレイで用紙種類を設定する」を参照してください。

5

登録した用紙種類に印刷をする

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

2. [印刷設定] タブで、[用紙種類：] から登録しておいた用紙種類を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷設定] タブをクリックします。

3. 印刷の指示をします。

あらかじめ登録しておいた設定で印刷されます。

補足

- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

6. 消耗品の交換

消耗品はお早めにお求めくださることをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P.235「消耗品一覧」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

6

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

重要

- **トナーカートリッジは冷暗所に保管してください。**
- **トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、ご使用の条件によっては、寿命が半分以下になる場合があります。**
- **印刷品質を保つため、純正トナーの使用をお勧めします。**
- **商品本来の性能を発揮させるために、リコー純正の消耗品をご使用ください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となる場合があります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご注意ください。）**
- **機械の中にゼムクリップ、ステープラーの針、その他の小さな金属片を落とさないようにしてください。**

- **カバーが外れた状態で、長時間トナーカートリッジを直射日光の当たる場所に置かないでください。**

トナーカートリッジの交換時期

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作部に次のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを用意してください。

トナーカートリッジの交換方法については、新しいトナーカートリッジに同梱されている交換手順書を参照してください。

ｶｰﾄﾘｯｼﾞ もうすぐ交換<K,C,M,Y>

補助ﾒﾆｭｰ　文書印刷　ｻﾌﾟﾗｲ情報

「カートリッジもうすぐ交換」が表示された後、印刷を続行することはできますが、印刷結果は保証いたしかねます。印刷面にかすれ、スジ、汚れが発生する場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

操作部に次のメッセージが表示されると、印刷が停止します。新しいトナーカートリッジに交換してください。

カートリッジの交換時期です

印刷継続　ｼﾞｮﾌﾞﾘｾｯﾄ

［印刷継続］が表示されている間は、［印刷継続］を押すことで、印刷を継続することができます。印刷できる枚数は、約 50 枚です（環境条件によって異なります）。きれいに印刷できない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

補足

- シアン、マゼンタ、イエローのトナーがなくなった場合、ブラックのトナーを使って白黒印刷ができます。プリンタードライバーで、カラーモードを白黒に変更して印刷してください。
- ブラックのトナーがなくなった場合、ブラックのトナーカートリッジを交換しないと白黒印刷もカラー印刷もできません。

廃トナーボトルを交換する

⚠警告

- 搬送ユニット取り外しの際は、主電源を切って、30 分以上経過してから作業してください。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

重要

- **廃トナーボトルの再利用はできません。**
- **廃トナーボトルは消耗品ですので、常に予備のボトルを購入しておかれることをお勧めします。**
- **廃トナーボトルを取り出すときは、トナー粉が飛び散らないよう注意してください。**
- **廃トナーボトルを取り出すときは、水平に保ったまま取り出してください。**
- **プリンターから廃トナーボトルを取り出すときは、床等を汚さないよう紙等を敷いて作業してください。**

- **廃トナーボトル交換後、電源を入れる前に、搬送ユニットがセットされているか確認してください。セットされていない場合、電源を入れる前に必ずセットしてください。**

廃トナーボトルの交換時期

操作部に次のメッセージが表示されたときは、新しい廃トナーボトルに交換してください。

廃トナーボトルの交換方法については、新しい廃トナーボトルに同梱されている交換手順書を参照してください。

廃トナーボトル満杯
前カバーを開けて交換します。
ﾒﾆｭｰｷｰでｻﾌﾟﾗｲ情報を確認
できます。

また、次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しい廃トナーボトルを用意してください。

廃ﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙもうすぐ満杯
販売窓口にご連絡ください。
補助ﾒﾆｭｰ　文書印刷　ｻﾌﾟﾗｲ情報

6

中間転写ベルトを交換する

中間転写ベルトの交換時期

操作部に次のメッセージが表示されたときは、新しい中間転写ベルトに交換してください。

中間転写ﾕﾆｯﾄの交換時期です		
サービスにご連絡ください。		
補助ﾒﾆｭｰ	文書印刷	ｻﾌﾟﾗｲ情報

中間転写ベルトの交換は、サービス実施店に依頼してください。

定着ユニットを交換する

定着ユニットの交換時期

操作部に次のメッセージが表示されたときは、新しい定着ユニットに交換してください。

定着ユニットの交換時期です
サービスにご連絡ください。
補助メニュー / 文書印刷 / サプライ情報

定着ユニットの交換は、サービス実施店に依頼してください。

6

7. 清掃

プリンターの清掃について説明します。

清掃するときの注意

⚠警告

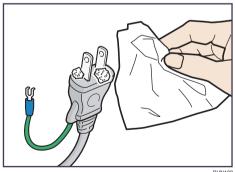
- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

BVN100

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
- プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

7

トナー濃度センサーを清掃する

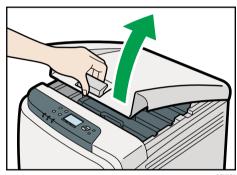
操作部に以下のメッセージが表示されたときは、トナー濃度センサーを清掃してください。

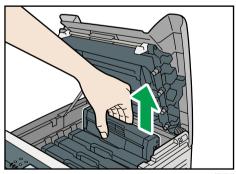
「トナー濃度センサーの清掃が必要です。」

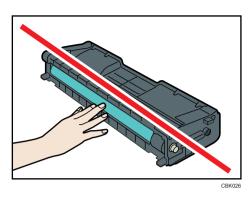
⚠注意

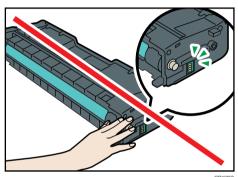
- 上カバーを開閉する際、指挟み、指のけがに注意してください。

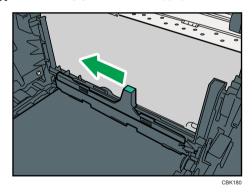
1. 上カバー開閉レバーを引き、上カバーをゆっくりと開けます。

CBK028

2. シアンのトナーカートリッジを、中央の持ち手部分を持って、ゆっくりと垂直に引き上げて取り出します。

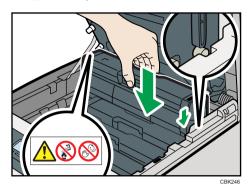
CBK245

- 各トナーカートリッジには各色のラベルが付いています。
- 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- 床等を汚さないよう、取り出したトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。
- トナーカートリッジの感光体部分には触れないでください。

CBK026

- トナーカートリッジの側面にある ID チップには触れないでください。

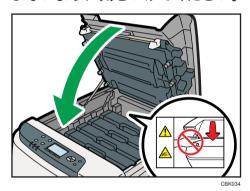
CBK250

3. トナー濃度センサーの清掃レバーを左方向へ 1 回だけスライドさせます。

CBK180

レバーは 1 回だけ動かしてください。

4. 手順 2 で取り外したシアンのトナーカートリッジを、まっすぐゆっくりと差し込みます。

CBK246

5. 上カバーを、カバー中央部分を両手で持ち、ゆっくりと閉じます。指をはさまないように気をつけてください。

CBK034

フリクションパッドと給紙コロを清掃する

フリクションパッドや給紙コロが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドと給紙コロを清掃します。

⚠注意

- プリンター本体の重さは、約 29kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★重要

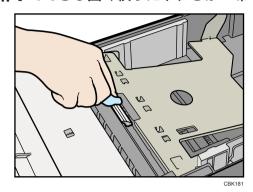
- **アルコールや洗浄剤などは使わないでください。**

1. **本機の電源を切ります。**
2. **電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルを本機から取り外します。**
3. **給紙トレイを前面を持ち上げてゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。**

CBK035

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。また、トレイに用紙が入っている場合は、用紙を取り出してください。

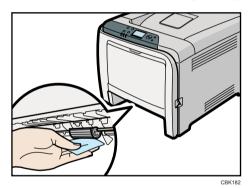
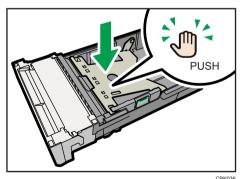
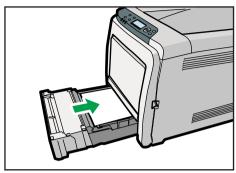
4. 水でぬらし固く絞ったやわらかい布で、フリクションパッドを拭きます。

CBK181

5. 水でぬらし固く絞ったやわらかい布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

CBK182

6. 底板の「PUSH」部分を、ロックされる位置まで押し下げます。

CBK036

7. 給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

CBK045

8. 電源プラグをコンセントに差し込み、ケーブルを接続します。

9. 本機の電源を入れます。

補足

- オプションの増設トレイ（トレイ 2）を使用している場合は、給紙トレイと同様にフリクションパッドと給紙コロを清掃してください。
- 清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、サービス実施店に連絡してください。

レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。

紙粉によって印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

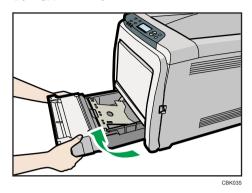
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

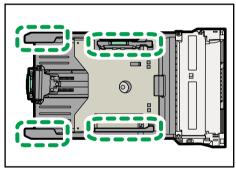
- **アルコールや洗浄剤などは使わないでください。**

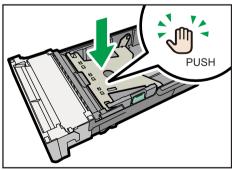
1. 本機の電源を切ります。

2. 電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルを本機から取り外します。

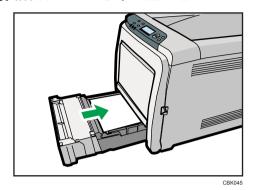
3. 給紙トレイを前面を持ち上げてゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

CBK035

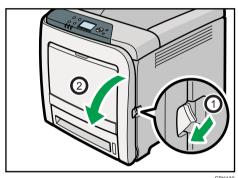
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。また、トレイに用紙が入っている場合は、用紙を取り出してください。

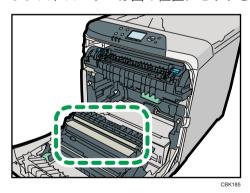
4. 給紙トレイ内部を布で拭きます。

CBK184

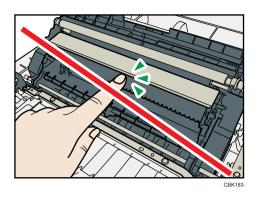
5. 底板の「PUSH」部分を、ロックされる位置まで押し下げます。

CBK036

6. 給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

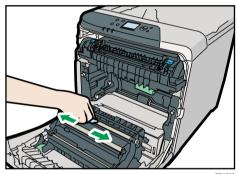
CBK045

7. 前カバー開閉レバーを手前に引いて、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CBK130

レジストローラーは図の位置にセットされています。

CBK185

清掃時に転写ローラー部分には触れないでください。

CBK183

紙づまりの処理を行った後の印刷物が汚れる場合は、レジストローラーを清掃してください。

8. 布で金属のレジストローラーを拭きます。

CBK232

9. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。

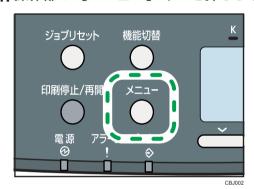
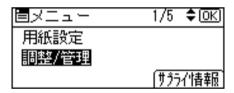
CBK156

10. 電源プラグをコンセントに差し込み、ケーブルを接続します。

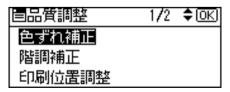
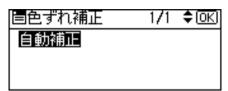
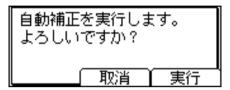
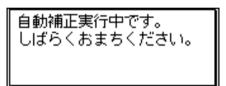
11. 本機の電源を入れます。

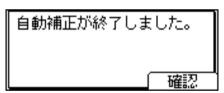
色ずれを補正する

本体を移動したときや厚紙を印刷したとき、または通常の印刷を繰り返しているうちに、カラー原稿を印刷すると色ずれが起こる場合があります。思いどおりの色に印刷するために、色ずれを補正してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［調整/管理］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［色ずれ補正］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［OK］キーを押します。

6. ［実行］の選択キーを押します。

色ずれ自動補正が始まり、メッセージが表示されます。

色ずれ自動補正の実行時間は約 30 秒です。終了すると確認のメッセージが表示されます。

7. ［確認］の選択キーを押します。

8. ［メニュー］キーを押します。

カラー階調を補正する

印刷を繰り返しているうちに色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わるなど、カラー印刷の階調は、いろいろな要素で変化します。その場合、カラー階調を補正することにより、適切な階調の印刷結果を得ることができます。

補足

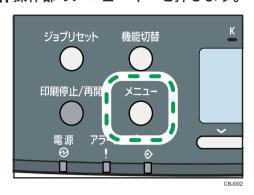
- 通常は特に設定する必要はありません。
- ある期間プリンターを休止させておくと、色味が変化することもあります。
- 1 回の操作で補正しきれないときは、必要に応じて数回補正を繰り返してください。
- 階調補正を行うと、印刷するすべてのユーザーの印刷結果に反映されます。
- 一連の操作で使用する階調補正シートの用紙は、同じ種類の用紙を使用してください。違う種類の用紙を使用すると正確に補正されません。

カラー階調の補正は次の流れで行います。

8

階調の補正値を設定する

印刷されたときに明るい部分（ハイライト部）と、中間の部分（ミドル部）の 2 つの部分の階調を補正します。

1. 操作部のメニューキーを押します。

2. [▼] [▲] キーを押して [調整／管理] を選択し、[OK] キーを押します。

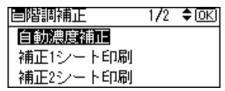
メニュー 1/5 OK
用紙設定
調整/管理
ｻﾌﾟﾗｲ情報

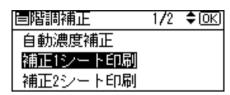
3. [▼] [▲] キーを押して [品質調整] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▼] [▲] キーを押して [階調補正] を選択し、[OK] キーを押します。

品質調整 1/2 OK
色ずれ補正
階調補正
印刷位置調整

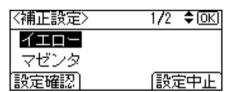
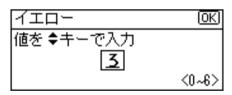
補正 2 だけを実行する場合は、手順 17 に進んでください。

5. [▼] [▲] キーを押して [自動濃度補正] を選択し、[OK] キーを押します。

6. [実行] の選択キーを押し、自動濃度補正を実行します。
7. 自動濃度補正が完了すると、確認のメッセージが表示されます。[確認] の選択キーを押します。

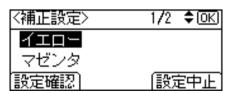
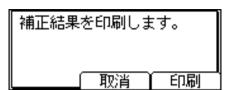
8. 補正 1 を実行します。[▼] [▲] キーを押して [補正 1 シート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。

9. [印刷] の選択キーを押し、階調補正シート 1 を印刷します。

10. 階調補正シート 1 と出力したい色を比べます。階調補正シートについては、P.182「階調補正シートの見かた」を参照してください。

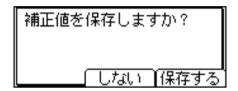
11. 補正 1 でハイライト部の階調の補正値を設定します。

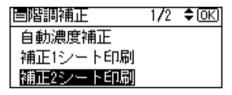
12. [▼] [▲] キーを押し目的の色を選択し、[OK] キーを押します。

13. [▼] [▲] キーで補正値を入力し、[OK] キーを押します。

補正値は 0~6 まで設定できます。

ほかの色も同様の操作で設定します。

14. すべての設定が終わったら、[設定確認] の選択キーを押し、補正結果を印刷します。

[印刷] の選択キーを押します。

15. 印刷された階調補正シート 1 を確認し、出力したい色と階調補正シート 1 の色に相違がなくなるまで、階調の補正を設定してください。

16. 補正値を保存して終了する場合は、［保存する］の選択キーを押します。

補正値を保存しないで終了する場合は、［しない］の選択キーを押します。保存しないで終了した場合は、補正値が反映されません。

これで補正 1 の設定は終了です。補正 2 に進みます。

17. ［▼］［▲］キーを押して［補正 2 シート印刷］を選択し、［OK］キーを押します。

18. ［印刷］の選択キーを押し、階調補正シート 2 を印刷します。

19. 補正 1 の階調の補正値設定と同様の操作を行い、補正 2 でミドル部の階調の補正値を設定します。

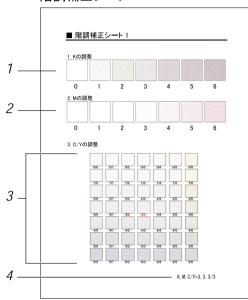
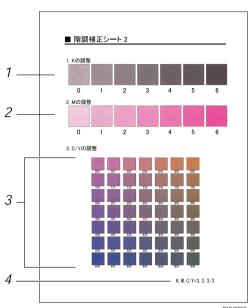
20. すべての設定が終わったら［メニュー］キーを押します。

階調補正シートの見かた

階調補正シートには、ハイライト部設定用の「階調補正シート 1」とミドル部設定用の「階調補正シート 2」の 2 種類があります。「階調補正シート 1」は補正 1 で、「階調補正シート 2」は補正 2 で使用します。

階調補正シートの見かた

階調補正は、K（ブラック）、M（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）の各色の補正値を階調補正シートを見て決め、操作パネルで設定します。

階調補正シート

1. K（ブラック）の調整

ブラックのトナー 1 色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

2. M（マゼンタ）の調整

マゼンタのトナー 1 色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

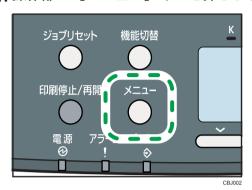
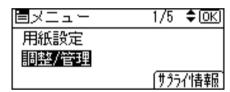
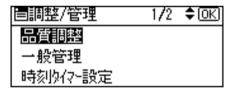
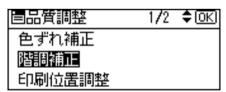
3. C（シアン）／Y（イエロー）の調整

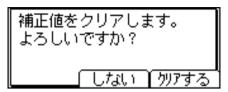
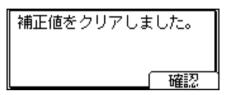
シアンとイエローを使用したときに印刷される色を補正します。シアンとイエローは、2 色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、パネル上では 1 色ずつ設定します。

4. 設定値

階調補正シート印刷時に設定されている数値が表示されます。操作パネルで設定した数値と対応します。

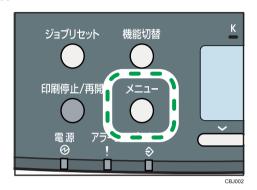
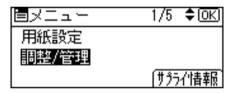
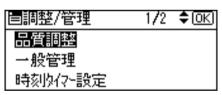
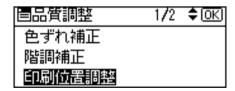
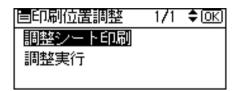
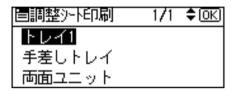
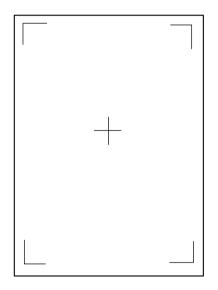
階調の補正値を初期値に戻すには

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［調整／管理］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［階調補正］を選択し、［OK］を押します。

5. ［▼］［▲］キーを押して［補正値クリア］を選択し、［OK］キーを押します。

6. ［クリアする］の選択キーを押し、補正値をクリアします。

7. 階調補正値が初期値に戻ったことを示すメッセージが表示されます。［確認］の選択キーを押します。

8. ［メニュー］キーを押します。

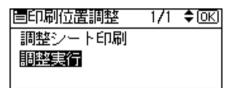
印刷位置を調整する

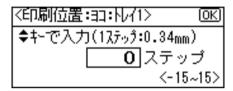
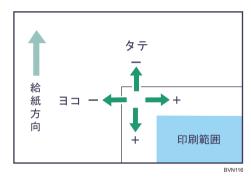
トレイごとの印刷位置を合わせるために印刷位置を調整することができます。縦横の方向は各トレイ共通です。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設トレイを取り付けたときに調整します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

2. ［▼］［▲］キーを押して［調整／管理］を選択し、［OK］キーを押します。

3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▼］［▲］キーを押して［印刷位置調整］を選択し、［OK］キーを押します。

5. 印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。［調整シート印刷］が表示されていることを確認して、［OK］キーを押します。

6. ［▼］［▲］キーを押して調整するトレイを選択し、［OK］キーを押します。

7. 印刷した調整シートを確認して、実際に印刷位置を調整します。

8. ［キャンセル］キーを押します。

9. ［▼］［▲］キーを押して［調整実行］を選択し、［OK］キーを押します。

8

10. [▼] [▲] キーを押して調整するトレイを選択し、[OK] キーを押します。

印刷位置調整　1/2　[OK]
ヨコ:トレイ 1
ヨコ:手差しトレイ
ヨコ:両面時裏面

11. [▼] [▲] キーを押して、数値（1 ステップ：0.34mm）を現在の設定から変更します。

数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を–方向にずらして印刷します。

[▼] [▲] キーを押しつづけると、1mm 単位で設定できます。

12. [OK] キーを押します。

13. [キャンセル] キーを押します。

14. [▼] [▲] キーを押して [調整シート印刷] を表示させ、[OK] キーを押します。

15. 手順 5~手順 6 を行い、調整した結果を確認します。

16. [メニュー] キーを押します。

9. 困ったときには

困ったときの対処方法や思いどおりに印刷できないときの対処方法について説明します。

操作部にメッセージが表示されたとき

操作部のディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

補足

- 「エラーコードが表示されるメッセージ」は、［システム設定］メニューの［エラー表示設定］を［すべて表示］に設定すると、画面に表示されるようになります。
- 省エネモード中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージは表示されません。
- エラーメッセージが表示されたまま省エネモードに移行すると、エラーの対処を行ってもメッセージは消えません。その場合は操作部のいずれかのボタンを押して、省エネモードを解除してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
印刷中です	印刷実行中です。
印刷停止中です	印刷は一時停止しています。印刷を再開する場合は、［印刷停止/再開］キーを押してください。
印刷できます	印刷可能な状態です。
印刷データ待ち	データ待ちの状態です。しばらくお待ちください。
ウェイティング	データ待ちの状態です。しばらくお待ちください。
オフライン	印刷を実行するときは、［印刷停止/再開］キーを押して、オンライン状態にしてください。
おまちください	準備中または定着クールダウン中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
証明書更新中	@Remote 証明書の更新中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
ジョブリセット中です	印刷ジョブをリセット中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
設定変更中です	設定変更中です。
停止中ジョブあり	リモートから印刷停止指示がありました。機器内にあるすべての印刷ジョブが一時停止中です。

メッセージ	状態
ヘキサダンプ	16 進数でデータを印刷できるモードです。 印刷終了後に電源を切り、再度電源を入れてください。

エラーコードが表示されないメッセージ

アルファベット順

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
：A 給紙トレイの用紙を取り除き前カバーを開閉します。	本機の内部、または給紙部で紙づまりが発生しました。	前カバーを開けて用紙を取り除いてください。または、給紙トレイを引き出して用紙を取り除いてください。 P.219「紙づまり（A）が発生したとき」を参照してください。
：B 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました。	前カバーを開けて用紙を取り除いてください。 P.223「紙づまり（B）が発生したとき」を参照してください。
DHCP サーバーからアドレスが取得できません	DHCP サーバーに接続できません。	DHCP サーバーが動作しているか、イーサネットケーブルが外れていないかなど、DHCP サーバーとの接続状態を確認してください。また、DHCP サーバーをお使いにならない場合は、DHCP の設定を Off にしてください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。
IPv4 アドレスが重複しています	ネットワーク内に同じ IPv4 アドレスを持つ機器が存在します。	本機のインターフェース設定で、重複しない IPv4 アドレスに設定し直してください。管理者に連絡してください。
IPv6 アドレスが重複しています ／リンクローカルアドレス ／ステートレスアドレス ／手動設定アドレス	ネットワーク内に同じ IPv6 アドレスを持つ機器が存在します。	管理者に連絡してください。
IPv6 アドレス、ゲートウェイに不正な値が設定されています。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの値が正しくありません。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの設定を確認してください。 管理者に連絡してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
PDF ファイルエラー	構文エラーなどが発生しました。	印刷しようとしている PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。
PS3 モジュールが故障しています ／サービスにご連絡ください	PS3 カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SDRAM モジュールを認識できません ／サービスにご連絡ください	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換するか電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SD カードからの認証に失敗 ／エラー再発生時はサービスに連絡	マルチエミュレーションカードもしくはデジタルカメラ接続カードの認証に失敗しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
SRAM 異常 ／SRAM を初期化しました	SRAM に異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
USB エラーです ／サービスにご連絡ください	USB インターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
WPA 認証完了していない	WPA の認証が未完了です。	WPA の認証方式に応じて設定してください。
：Y トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉	増設トレイで紙づまりが発生しました。	増設トレイを取り出して用紙を取り除いてください。 P.226「紙づまり（Y）が発生したとき」を参照してください。
：Z 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。	搬送ユニット内で紙づまりが発生しました。	前カバーを開けて用紙を取り除いてください。 P.227「紙づまり（Z）が発生したとき」を参照してください。
@Remote 証明書の更新中です	@Remote 証明書の更新中です。	しばらくお待ちください。
@Remote 証明書の更新失敗 ／サービスにご連絡ください	@Remote 証明書の更新に失敗しました。	電源を入れ直して再度更新してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

50 音順

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
明るさ検知自動電源オフに失敗。 ／手動で電源を切るかご使用になる場合は何かキーを押してください。	省エネモードから［明るさ検知自動電源オフ］機能への切り替えに失敗しました。	電源をオフにする場合は、手動で電源を切ってください。このまま使用する場合は、操作部のキーを押してください。
イーサネットボードエラーです。	イーサネットボードに異常が発生しました。	拡張ギガビットイーサネットボードをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
印刷できません	印刷不許可のファイルを印刷しようとしています。	印刷不許可の設定を解除して印刷してください。
印刷できる最大サイズを超えています。ジョブリセットしてください。	指定された用紙サイズが、使用可能な用紙の最大サイズを超えています。	［ジョブリセット］の選択キーを押して印刷を中止してください。
印刷保留中 ／印刷を再開する場合は、PC から指示してください。	試し印刷や機密印刷などの印刷ジョブを保留しています。	保留／解除の設定は、Web Image Monitor で行ってください。Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
遠隔診断機器との接続エラー ／管理者にご連絡ください	RCG（Remote Communication Gate）と通信できません。	管理者に連絡してください。
オプション RAM エラーです。	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換してください。 SDRAM モジュールの交換については、P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
カートリッジの交換時期です。 ＜ K,C,M,Y ＞	トナーがなくなりました。	トナーを交換してください。P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
カートリッジもうすぐ交換	表示されたカラー（C、M、Y、K）のトナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
カートリッジを正しくセットしてください。	トナーが正しくセットされていません。	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。トナーカートリッジのセット方法は P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
カバーオープン 白黒反転または矢印の部分を閉めてください。	本体前カバーまたは上カバーが開いています。	本体前カバーまたは上カバーを閉めてください。
給紙トレイに用紙がありません。用紙を補給してください。	指定したトレイに用紙がセットされていません。 幅 90mm より小さいサイズの用紙を印刷する場合に、［用紙幅 64-90mm の手差し印刷］設定が［有効］に設定されていません。	指定したトレイに用紙をセットしてください。P.126「用紙をセットする」を参照してください。 手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙に印刷したい場合は、印刷ジョブをキャンセルし、［システム設定］メニューの［用紙幅 64-90mm の手差し印刷］を［有効］に設定してください。P.144「手差しトレイで幅 90mm より小さいサイズの用紙を使用する場合の設定方法」を参照してください。
給紙トレイを正しくセットしてください。	指定したトレイが、正しくセットされていません。	指定したトレイが正しくセットされているか確認してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときは［ジョブリセット］の選択キーを押してください。
現在の無線 LAN カードでは WPA は動作しません	WPA 非対応の無線 LAN カードを使用しています。	WPA に対応した無線 LAN カードを使用してください。
🔧故障時自動通報 SC：####	故障しています。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
この NetBIOS 名は使用されています	ネットワーク内で NetBIOS 名が重複しています。	NetBIOS 名が重複しないよう設定し直してください。
サーバーと通信できません	サーバーに接続できない。応答がない。	管理者に連絡してください。
最大サイズオーバーです。 強制印刷またはジョブリセットしてください。	印刷できる最大サイズを超えています。	設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
修理依頼通報 SC：####	故障の可能性があります。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
消耗品の自動発注に失敗 ／XXX	消耗品の自動発注に失敗しました。 （XXX：カートリッジ、用紙、廃トナーボトルなどの各種消耗品）	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
センターに接続できませんでした／プロキシユーザー名／パスワードを確認	プロキシユーザー名もしくはパスワードが間違っています。	プロキシユーザー名もしくはパスワードを正しく設定してください。
中間転写ユニットの交換時期です／サービスにご連絡ください。	中間転写ユニットの交換時期です。	中間転写ユニットの交換時期です。サービス実施店に連絡してください。
中間転写ユニットを正しくセットしてください。	中間転写ユニットが正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
調整中です	カラー調整中もしくは色ずれの補正中です。	しばらくお待ちください。
定着ユニットの交換時期です。／サービスにご連絡ください。	定着ユニットの交換時期です。	定着ユニットの交換時期です。 サービス実施店にご連絡ください。
定着ユニットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
手差しトレイに用紙をセットしてＯＫを押してください。	手差しトレイに用紙がセットされていません。	手差しトレイに用紙をセットてから［OK］キーを押して印刷を継続してください。
トナー濃度センサーの清掃が必要です。	トナー濃度センサーが汚れています。	トナー濃度センサーを清掃してください。詳しくは、P.167「トナー濃度センサーを清掃する」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
トレイ#に用紙がありません。補給してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～2、手差し）に用紙がセットされていません。	表示されたトレイに用紙を補給してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときは［ジョブリセット］の選択キーを押してください。
トレイ#は片面印刷のみの設定となっているため両面印刷できません	表示されたトレイ#（トレイの名前）の設定が片面印刷に設定されています。	両面印刷できるトレイを選択し直すか、表示されたトレイの設定を変更します。 設定を変更して印刷するときは［用紙設定］メニューの［両面印刷トレイ］から表示されたトレイを選択し［両面印刷する］を選択します。
トレイ#を下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1～2）の用紙種類または用紙サイズが、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙種類またと用紙サイズと異なります。	表示されたトレイに、指定したサイズの用紙をセットした上で、操作部で用紙サイズを変更してください。 設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
ネットワークに接続できません ／管理者にご連絡ください	ネットワークに接続できません。	管理者に連絡してください。
ネットワークに接続できません ／IP アドレスの設定を確認	IPv4 アドレスの設定が正しくありません。	IPv4 アドレスの設定を確認してください。管理者に連絡してください。
ネットワークの設定を確認してください	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が正しくありません。	ネットワーク（IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定を確認してください。管理者に連絡してください。
ハードディスクが故障しました ／サービスにご連絡ください	拡張 HDD に異常が発生しました。	拡張 HDD をセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。 拡張 HDD のセット方法については、P.59「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
排紙枚数が上限に達した可能性があるため印刷を停止しました。排紙先を確認してください。	［排紙上限到達時の印刷停止］により、印刷が停止しました。	本体排紙トレイの用紙を取り除いてください。印刷中に排紙トレイの用紙を取り除いても、連続して印刷できる枚数の上限に達した場合は、印刷を停止します。印刷を再開するときは、操作部の［印刷停止/再開］キーを押してください。連続して印刷する場合に、［排紙上限到達時の印刷停止］機能の作動させないときは、［排紙上限到達時の印刷停止］を［無効］に設定してください。
廃トナーボトル満杯 ／前カバーを開けて交換してください。［メニュー］キーでサプライ情報を確認できます。	廃トナーボトルが満杯になりました。	廃トナーボトルを交換してください。
廃トナーボトルもうすぐ満杯 ／購入窓口にご連絡ください	廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。	新しい廃トナーボトルを用意してください。
廃トナーボトルを正しくセットしてください。	廃トナーボトルがセットされていないか、正しくセットされていません。	廃トナーボトルを正しくセットしてください。正しくセットされていてもエラーが表示される場合は、サービス実施店にご連絡ください。
パスワード不一致	暗号化された PDF ファイルのパスワードが一致していません。	正しいパスワードを入力してください。
パラレル I/F エラーです。	パラレルインターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。また、適切なインターフェースケーブルを使用していることを確認してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
非純正トナーがセットされています	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	純正のトナーカートリッジをセットしてください。
ファイルシステムエラー	PDF ダイレクト印刷用の領域を確保できません。	［システム設定］メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、不要なファイルを削除してください。もしくは拡張 HDD を増設してください。拡張 HDD の増設については、P.59「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
ファイルシステムフル	PDF ダイレクト印刷用の領域が不足しているため、PDF ダイレクト印刷を実行できません。	［システム設定］メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、または、不要なファイルを削除してください。
複数のインターフェースで IPv4 アドレスが重複しています。	ネットワーク内の複数の機器が、同一の IPv4 アドレスを使用している。	IPv4 アドレスが重複しないよう設定してください。
プリンターフォントエラーです。	プリンターのフォントファイルに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
プロキシの設定を確認。再エラー時： ／サービスにご連絡ください	Proxy が設定されていません。Proxy のアドレスまたはポート番号が間違っています。	Proxy のアドレスまたはポート番号を正しく設定し、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
無線カードが故障しています ／サービスにご連絡ください	拡張無線 LAN カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN カードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
無線カードに接続できません ／主電源を切り、カードを確認	拡張無線 LAN カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN カードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
ユニット初期調整中	オプションユニットの初期調整中です。	しばらくお待ちください。
用紙種類／サイズが異なります。下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	自動選択の対象となるトレイ#（1～2、手差し）に、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙サイズ、用紙種類と一致するトレイがありません。	任意のトレイを選び、指定したサイズ・種類の用紙をセットします。操作部に表示されたサイズ・種類の用紙に変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［ジョブリセット］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。

9

エラーコードが表示されるメッセージ

コード番号順

エラーメッセージ	原因	対処方法
84：ワークエラー	イメージを処理するためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
85：グラフィック	指定されたグラフィックスライブラリがありません。	送信データが正しいか確認してください。
86：パラメーター	モノクロエミュレーションをご使用で、自作プログラムソフトでご利用の場合などに、制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87：メモリーオーバー	印刷する用紙サイズのためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、小さいサイズの用紙サイズを指定してください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
89：メモリースイッチ	印刷条件の設定値が不適当です。	印刷条件を正しく設定してください。
90：メディアフル	拡張 HDD の容量が不足しています。	拡張 HDD に登録されている不要なデータを削除してください。
92：メモリーオーバー	イメージ／フォームオーバーレイのためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：フォントエラー	指定されたフォントがフォントテーブルにありません。	文字コードを正しく設定してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
96：文字セットエラー	存在しないフォントセットが選択されました。	送信データを確認し、修正してください。
97：アロケーションエラー	フォントを登録する領域がありません。	SDRAM モジュールを増設してください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
98：アクセスエラー	拡張 HDD に正常にアクセスできません。	拡張 HDD を正しく取り付けてください。P.59「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
99：ワーニング	RTIFF データの処理中に警告レベルのエラーが発生しました。	詳しくは、『RTIFF 編』を参照してください。
99：データエラー	RTIFF データの処理中に警告レベルのエラーが発生しました。	詳しくは、『RTIFF 編』を参照してください。
9B：認証不適合	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	ユーザーの権限を確認してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	プリンターの受信バッファを多く設定してください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	ソート枚数を適切な数値にしてください。
A6：ページフル	印刷中に画像メモリーが不足しました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
A9：ページエラー	試し印刷、機密印刷でページオーバーが起こりました。	印刷するページ数を減らしてください。
AA：文書数エラー	試し印刷、機密印刷で文書数がオーバーしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AB：ハードディスクフル	試し印刷、機密印刷で拡張 HDD がオーバーフローしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AC：ハードディスクフル	拡張 HDD のフォーム、フォント用領域でオーバーフローしました。	不要なフォームまたはフォントを削除してください。

9

エラーメッセージ	原因	対処方法
AD：蓄積エラー	拡張 HDD が装着されていない状態で、機密印刷の指示が出されました。	機密印刷を実行するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。P.59「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
AF：登録数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
AG：ハードディスクフル	イメージオーバーレイのフォーム登録で HDD オーバーフローが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。
AH：登録エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとした。	イメージオーバーレイのフォーム登録の場合はフォーム番号を変えるか登録済みのフォームを削除してから登録してください。
AI：用紙サイズエラー	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズを指定してください。
AJ：用紙種類エラー	給紙できない紙種の印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な紙種を指定してください。
B6：ユーザーの自動登録に失敗	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。	管理者に連絡してください。
B7：登録済ユーザーと情報が重複	LDAP や RDH 認証で、異なるサーバに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えによるなどで、名前（アカウント名）の重複が発生しました。	管理者に連絡してください。
B8：サーバー応答なし	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
B9：他機能でアドレス帳使用中	他の機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問合せができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
BA：利用権限がありません	利用者制限により印刷ジョブがキャンセルされました。	ユーザーコードの許可条件を確認してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
BF：両面エラー	メモリー不足のため、または両面印刷できない用紙サイズが指定されたため、両面印刷の指定が解除されました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを減らしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
BI：紙種名称エラー	指定された紙種名称が機器内に設定されていません。	本機の電源を入れなおすか、リセットしてください。
BJ：分類コードが不正です	分類コードが必要な機器設定なのにジョブに分類コードが指定されていません。	プリンタージョブに対して分類コードが指定されていません。プリンターのプロパティーから分類コードを指定し、再度印刷をしてください。
BQ：伸張エラー	圧縮データが破損しています。	PC とプリンターが正常に通信できているか確認してください。 圧縮データ作成ツールが正常に動作を完了しているか確認してください。
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、次のいずれかを確認してください。 • ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。 • 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 • プリンタードライバーのメモリーを正しく設定しているか。
P2：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	SDRAM モジュールを増設してください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

9

エラーメッセージ	原因	対処方法
P3：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールを交換してください。P.56「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	ホストが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

補足

- エラーの内容はエラー履歴に印刷されます。あわせてご確認ください。詳しくは、P.50「テスト印刷する」を参照してください。

ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況や原稿の置き忘れなどをブザー音でお知らせします。それぞれのブザー音について説明します。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピーピー”	準備完了音	電源を入れ、使用可能な状態になったときに鳴ります。
“ピッ”	入力完了音	操作部で正常なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピッピー”	入力無効音	操作部で無効なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 （同じパターンを 4 回繰り返します）	用紙切れなどで、プリントジョブが完了できないときに鳴ります。
“ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ”	強注意音 （同じパターンを 5 回繰り返します）	紙づまりやトナー補給など、お客様による対処が必要となったときに鳴ります。

補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定について、『ソフトウェアガイド』「プリンター本体の設定」を参照してください。

印刷がはじまらないとき

確認すること	対処方法
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントとプリンターに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「On」側にしてください。
アラームランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、操作部のエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
用紙はセットされていますか？	給紙トレイまたは手差しトレイまたは増設トレイに用紙をセットしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。
テスト印刷ができますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 詳しくは、P.50「テスト印刷する」を参照してください。
イーサネットケーブルまたは USB ケーブルがきちんと接続されていますか？	イーサネットケーブルまたは USB ケーブルがパソコン、プリンターにしっかりと接続されていることを確認してください。
イーサネットケーブルまたは USB ケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するイーサネットケーブルまたは USB ケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なケーブルを使用してください。 断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。 詳しくは、P.73「パソコンとの接続」を参照してください。
印刷実行後、データインランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点滅・点灯しないときは、プリンターにデータが届いていません。 **パソコンとケーブルで接続しているとき** 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は、P.205「パソコンとケーブルで直接接続しているとき」を参照してください。 **パソコンとネットワークで接続しているとき** ネットワークの管理者に相談してください。

それでも印刷がはじまらないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。

- パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1 または LPT2 に設定します。
- USB インターフェースで接続しているときは、USB00（n）に設定します。
  ※（n）はプリンターの接続台数によって異なります。

Windows 2000 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックします。
4. [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックします。
4. [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ハードウェアとサウンド] から [プリンタ] をクリックします。
3. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
4. [ポート] タブをクリックします。
5. [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [ポート] タブをクリックします。

4. [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

補足

- インストールやポートの設定の詳細については、『ドライバーインストール手順書』「プリンタードライバーをポート別にインストールする」を参照してください。

思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても、思いどおりに印刷できないときの対処方法に関する説明です。

きれいに印刷できないとき

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙の設定が間違えている可能性があります。例えば、厚紙を使っているときに薄紙が設定されている可能性があります。操作部またはプリンタードライバーの用紙の設定を確認してください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」および「プリンタードライバーヘルプ」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙が反っていたり、曲がったりしていませんか？特にはがきに印刷する場合は反りが発生しやすいので、セットする前に必ず直してください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙の表／裏を逆にして、トレイにセットしてみてください。
用紙の裏面が汚れる	紙づまりの用紙を取り除いたとき、プリンター内部が汚れた可能性があります。きれいになるまで何枚か印刷してみてください。
用紙の裏面が汚れる	原稿サイズが用紙サイズより大きい場合（例：A4 の原稿を B5 に印刷しようとする場合）、次に印刷する用紙の裏面が汚れることがあります。
1 つの色が欠けていたり、ぼやける	トナーがもうすぐなくなります。アラームランプが点灯し操作部に以下のメッセージが表示された場合、表示のトナーを交換してください [カートリッジの交換時期です] 詳しくは、P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
1 つの色が欠けていたり、ぼやける	結露が発生した可能性があります。温度や湿度に急激な変化が生じたときは、本機を室温に十分なじませてからご使用ください。
画像がぼやける	用紙が湿っています。適切に保管された用紙をご使用ください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
画像がぼやける	操作部の［メニュー］キーを押し、［システム設定］メニューの［高湿対応］にある［高湿対応レベル］を［レベル 2（中）］か［レベル 3（強）］に設定してください。
文字がかすれる	PCL プリンタードライバーで印刷したときに、文字がかすれる場合は、操作部の［メニュー］キーを押し、［印刷設定］メニューの［一般設定］にある［PCL 文字太さ補正］を［補正する］に設定してください。

状態	原因・対処方法・参照先
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。エミュレーションを呼び出すには、操作部から［補助メニュー］を押し、［エミュレーション呼び出し］を選択します。
用紙にしわができる	• 用紙が湿っている可能性があります。適切に保管された用紙をお使いください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 用紙が薄すぎませんか？ 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。
印刷された用紙が反れている	• 給紙トレイの用紙を、上下逆にセットしてみてください。 • 排紙トレイの補助トレイを立ててください。 • 反りが大きい場合は、排紙トレイからこまめに用紙を引き取ってください。
印刷された用紙が反れている	操作部の［メニュー］キーを押し、［システム設定］メニューの［高湿対応］にある［高湿対応レベル］を［レベル 2（中)］か［レベル 3（強)］に設定してください。
正しい位置に印刷されない R CBK258	用紙をセットするときに、給紙トレイまたは増設トレイのエンドガイドとサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドを調整して、用紙サイズにあわせてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。 印刷位置を調整してください。詳しくは P.186「印刷位置を調整する」を参照してください。
用紙に対して斜めに印刷される R CBK259	用紙をセットするときに、給紙トレイまたは増設トレイのエンドガイドとサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドを調整して、用紙サイズにあわせてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
縦の線が印刷される	中間転写ベルトが汚れています。 以下の手順でベルトを清掃してください。 1. 電源を入れた状態で上カバーを開けます。 2. トナーカートリッジをすべて取り出します。 3. 上カバーをゆっくりと閉めます。 プリンターが自動的にクリーニングモードに入ります。クリーニング時間は約 10 秒です。 4. 清掃が終わったら、上カバーを開けてトナーカートリッジをすべて戻します。 清掃しても線が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
横の線が印刷される	物理的衝撃が加わると、用紙に横の線が印刷されるなどの不具合を生じることがあります。プリンターに物理的衝撃を与えないでください。特に印刷中はお気をつけください。
	横の線が印刷されたときは、プリンターの電源を切ってしばらくお待ちください。そのあと電源を入れなおし、印刷ジョブを再開してください。
印刷された色と画面上の色が違う	• 操作部の［メニュー］キーを押し、［色ずれ補正］を実行してください。詳しくは P.177「色ずれを補正する」を参照してください。 • 電源のスイッチを切ってから入れなおしてください。 • ［色ずれ補正］の実行や電源を入れなおしても、思いどおりの色が出ない場合は、サービス実施店に連絡してください。
写真の画質が粗い	アプリケーションの中には、印刷の解像度が下がるものがあります。
色ずれが発生する	思いどおりの色が出ない場合は、操作部で［色ずれ補正］を実行してください。詳しくは P.177「色ずれを補正する」を参照してください。
白い斑点が現れる	レジストローラー、給紙トレイが、紙粉で汚れている可能性があります。レジストローラー周辺および給紙トレイを清掃してみてください。 詳しくは、P.173「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。
白い線や、色の線が現れる	トナーがもうすぐなくなります。アラームランプが点灯し操作部に以下のメッセージが表示された場合、表示のトナーを交換してください。 ［カートリッジの交換時期です］ 詳しくは、P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
印刷された画像で、下のほうの色がついていない	プリンターの電源を切り、トナーカートリッジを交換してください。詳しくは、P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
カラーのトナーカートリッジを交換しベタ画像を印刷したときに、粒状の色抜けが発生する	用紙種類で「再生紙」を選択して印刷してください。 詳しくは、P.138「給紙トレイで用紙種類を設定する」およびP.145「手差しトレイで用紙種類を設定する」を参照してください。
R98 モードで印刷したとき、正しい位置に印刷されない	印刷条件の［印刷位置］の設定が、ソフトウェアの設定と合っていない可能性があります。正しく設定してください。

ドライバーの設定が必要なとき

状態	原因・対処方法・参照先
全体がかすれる	プリンタープロパティの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［トナーセーブ］を［薄い］または［やや薄い］に設定すると、全体的に薄く印刷されます。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	拡大や縮小などの機能を使うと、画面上のレイアウトと異なることがあります。
画面どおりに印刷されない	グラフィックスコマンドを使用する設定で印刷すると、表やグラフのレイアウトが変わることがあります。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	色付き文字をグレーで印刷するには、プリンタープロパティの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、「文字を黒で印刷」のチェックを外してください。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
印刷された色と画面上の色が違う	印刷された色と画面上の色は製造システム上異なります。
印刷された色と画面上の色が違う	プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［トナーセーブ］を［薄い］または［やや薄い］に設定すると、色のグラデーションが異なって見えます。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
カラー印刷が白黒で印刷される	• プリンタードライバーがカラー印刷に設定されていません。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • アプリケーションの中には、カラー印刷を白黒で印刷するものがあります。

状態	原因・対処方法・参照先
細かい点が印刷されない	プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、ディザリングの設定を変更してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が途切れる	プリンタードライバーでの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、ディザリングの設定を変更してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
シアン、マゼンタ、イエローが混ざると、塗りつぶしの部分、線、文字が光って見える	プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［グレー印刷方式：］を［黒 1 色］に設定してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
黒色のグラデーションが不自然である	プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［グレー印刷方式：］を［CMYK4 色］に設定してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
カラー印字時に黒色部分に粒状の色抜けが発生する	プリンタードライバーの［印刷品質］メニューで、［グレー印刷方式：］を［CMYK4 色］に設定してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙がつまる	• セットした用紙がトレイ内の上限を超えている可能性があります。用紙がトレイ内の上限を超えないようにしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。 • 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。 • 操作部の設定している用紙サイズと実際にセットしている用紙サイズが異なっている可能性があります。実際にセットしている用紙サイズに合わせて操作部の用紙サイズ設定を変更してください。

状態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙がつまる	• 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？ 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 用紙が折れていたり、しわになっていたりしませんか？折れやしわのない用紙をお使いください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ 詳しくは、P.122「使用できない用紙」を参照してください。 • 用紙が湿っていませんか？適切に保管された用紙を使ってください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
何度も用紙がつまる	フリクションパッド、給紙コロ、レジストローラーが汚れている可能性があります。関連する部品を清掃してみてください。 詳しくは、P.170「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」、および P.173「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。
何度も用紙がつまる	用紙の設定が間違えている可能性があります。例えば、厚紙を使っているときに薄紙が設定されている可能性があります。操作部またはプリンタードライバーの用紙の設定を確認してください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」および「プリンタードライバーヘルプ」を参照してください。
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	［用紙設定］メニューの［自動トレイ選択］で［対象にしない］を設定していませんか？
用紙が一度に何枚も送られる	• 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。 • セットした用紙がトレイ内の上限を超えている可能性があります。用紙がトレイ内の上限を超えないようにしてください。 詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。 • 給紙トレイに用紙が残っているときに用紙を追加しませんでしたか？ 給紙トレイに用紙がなくなってから、用紙を補給してください。 • 用紙をセットするまえに、用紙をさばいてからセットしてみてください。

9

状態	原因・対処方法・参照先
用紙が一度に何枚も送られる	• 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？ 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ 詳しくは、P.122「使用できない用紙」を参照してください。 • 用紙が乾燥して静電気を発しています。正しく保管された用紙をお使いください。 詳しくは、P.122「使用できない用紙」を参照してください。
用紙が一度に何枚も送られる	フリクションパッド、給紙コロが汚れている可能性があります。関連する部品を清掃してみてください。 詳しくは、P.170「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」を参照してください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データが大きいため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	省エネモードになっている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。 操作部の［メニュー］キーを押し、［システム設定］メニューの［予熱移行時間設定］にある［移行時間設定］を［移行しない］に設定してください。
印刷の指示をしてから印刷が終わるまで時間がかかる	• 写真などデータが大きいものは、処理に時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。 プリンタードライバーの設定を変えると、印刷速度が速くなることがあります。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。 • 操作部のデータインランプが点滅しているときは、プリンターがウォーミングアップ中です。そのまましばらくお待ちください。 • カラー調整を行っています。そのまましばらくお待ちください。 待ち時間はおよそ 2 分です。

排紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
印刷された用紙が落下する	• 用紙フェンスを立ててください。 詳しくは、P.35 を参照してください。 • 反りが大きい場合は、排紙トレイからこまめに用紙を引き取ってください。
印刷された用紙が正常に積載されない	• 用紙が湿っていませんか？適切に保管された用紙を使ってください。 詳しくは、P.115「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 排紙トレイの補助トレイを立ててください。 • 用紙フェンスを立ててください。 詳しくは、P.35「全体」を参照してください。
印刷された用紙が正常に積載されない	操作部の［メニュー］キーを押し、［システム設定］メニューの［高湿対応］にある［高湿対応レベル］を［レベル 2(中)］か［レベル 3(強)］に設定してください。

補足

• それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在については、プリンターをご購入の販売店に確認してください。

9

その他のトラブルシューティング

本機の動作に関するトラブルシューティングです。

状態	原因・対処方法・参照先
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ダイレクトプリントを実行するためには、操作部から［システム設定］メニューの［RAM ディスク］に 2MB 以上の値を設定してください。それでも実行できないときは、オプションの拡張 HDD が必要です。拡張 HDD を取り付けてください。拡張 HDD の増設については、P.59「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	SDRAM モジュールを増設して、［システム設定］メニューの［RAM ディスク］に 8MB を設定した後に SDRAM モジュールを取り外すと、［RAM ディスク］の設定値が 0MB になります。この場合は、［RAM ディスク］の設定値を 2MB 以上に設定し直してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷する場合は、［PDF 設定］メニュー、または Web ブラウザーで、PDF ファイルのパスワードを設定してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。
PDF ダイレクトプリントの印刷結果で、文字が抜けていたり、文字の形が変わっていたりする	印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。
PDF ダイレクトプリントを実行したが、操作部に用紙サイズが表示され、印刷が実施されない	PDF ダイレクトプリントでは、PDF ファイルの中に指定されている用紙サイズで本機は印刷を実行します。メッセージが表示された場合は、表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットするか、または、強制印刷を実行してください。なお、［システム設定］メニューの［補助用紙サイズ］を［自動］に設定すると、Letter と A4 は同じサイズと見なされて、印刷が実行されます。たとえば、給紙トレイに Letter をセットしている状態で A4 サイズの PDF ファイルを PDF ダイレクトプリントで印刷した場合、印刷は実行されます。逆の場合も同じです。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web ブラウザーで本機にアクセスして表示される Web Image Monitor に管理者モードでログインし、［通知］内の以下の設定を確認してください。 • 本機のメールアドレス • 通知先グループ • 項目ごとの通知先 設定の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web ブラウザーで本機にアクセスして表示される Web Image Monitor に管理者モードでログインし、[メール] 内の SMTP サーバの設定を確認してください。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	本機がメールを発信する前に電源を切ると、メールは送られてきません。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	宛先に指定したメールアドレスが正しいかどうかを確認してください。 Web Image Monitor の [ネットワーク] 内の [システムログ] でプリンターの動作履歴を確認し、メールが発信されているのに届いていない場合は宛先が正しくない可能性があります。 メールサーバのエラーメールに関する情報も確認してください。
エラー発生を知らせるメールは来たが、エラー解除を知らせるメールが来ない	Web Image Monitor の [通知] で、エラー解除時にも E-mail を発信するように設定しているかどうかを確認してください。 [通知] 内の [項目ごとの通知先] の [編集] ボタンをクリックして表示される「通知項目詳細」画面で、[通知する時] を [発生・解除] に設定する必要があります。
エラー解除を知らせるメールを発信するように設定しているが、エラー解除を知らせるメールが来ない	エラー発生後に本機の電源を Off にし、電源 Off の間にエラーが解除された場合は、エラー解除を知らせるメールは発信されません。
エラー発生時とエラー解除時にメールを発信するように設定しているが、エラー発生メールが来ないで、エラー解除を知らせるメールだけが来た	エラー発生を知らせるメールを発信するまでの設定時間が過ぎる前にエラーが解除された場合、エラー発生メールは発信されず、エラーが解除されたことを知らせるメールだけが送信されます。
エラー発生を知らせる通知レベルを変更したが、そのタイミングでエラーが来なかった	変更前の通知レベルでエラー発生を知らせるメールが来ている場合、その後に通知レベルを変更してもメールは発信されません。

それでも思いどおりに動作しないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

10. 紙づまりの対処

用紙がつまったとき

プリンターに用紙がつまったときは、画面にエラーメッセージとつまっている場所が表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

★重要

- **用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。**
- **何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。**
    - **給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、P.111「用紙のセット」を参照してください。**
    - **フリクションパッドや給紙コロが汚れている。詳しくは、P.170「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」を参照してください。**

- つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意下さい。
- 上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。

紙づまり（A）が発生したとき

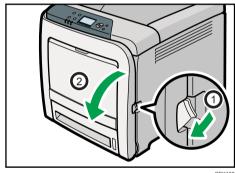
「%A 給紙トレイの用紙を取り除き前カバーを開閉します。」が表示されたときの対処方法について説明します。

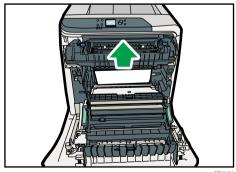
重要

- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性があります。**
- **手差しトレイから給紙した用紙が紙づまりを起こしたときは、手差しトレイにセットしてある用紙を取り除いて、手差しトレイを閉めてから前カバーを開閉させてください。**

給紙トレイの場合

1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CBK130

2. つまった用紙をゆっくりと上向きに引き抜きます。

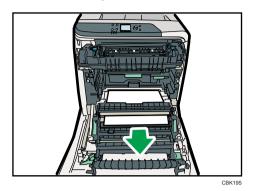
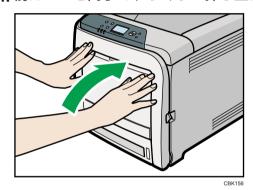
CBK194

つまった用紙が見えにくい場合があります。下からのぞいて紙づまりがないか確認してください。

10

3. 搬送ユニットで紙づまりが発生している場合は、用紙を両手で前方へ引き抜いてください。

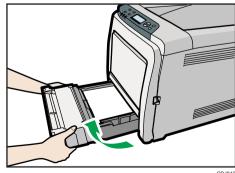
CBK195

4. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CBK156

カバー前面上部をしっかり押して閉めます。エラーが解除されたことを確認してください。

前カバーを開けたときに、つまっている用紙が見つからない場合は、次の手順へ進んでください。

5. 給紙トレイの前面を持ち上げてゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

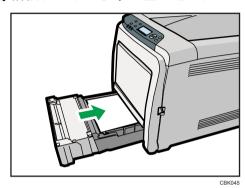
CBJ042

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

6. 給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、折れたり破れたりしている用紙を取り除きます。

7. 給紙トレイに用紙をセットします。

   詳しくは、P.126「用紙をセットする」を参照してください。

8. 給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

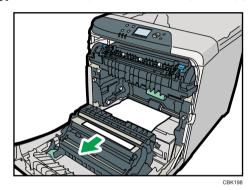
CBK045

紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

補足

- 前カバーの開閉を行なわないとエラーは解除されません。
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前カバーを開け、詰まった用紙を取り除くまで給紙トレイは引き抜かないでください。

手差しトレイの場合

1. 手差しトレイにセットされている用紙を取り出し、両手で手差しトレイを閉めます。

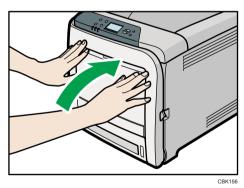
CBK197

2. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CBK130

3. つまった用紙をゆっくりと両手で前方へ引き抜きます。

CBK198

4. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CBK156

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

補足

- 給紙トレイは引き抜かないでください。

紙づまり（B）が発生したとき

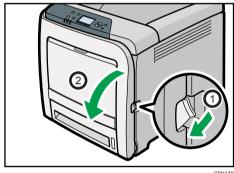
「⁂B 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」が表示されたときの対処方法について説明します。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

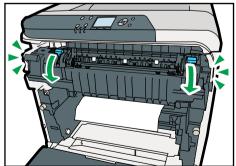
重要

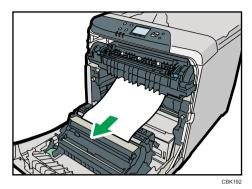
- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。**
- **定着ユニットの金属部は高温ですので触らないでください。やけどの原因になります。**

1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

CBK130

2. 定着ユニットのレバー（青色）を下げ、つまった用紙をゆっくりと下向きに引き抜きます。

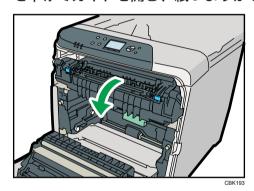
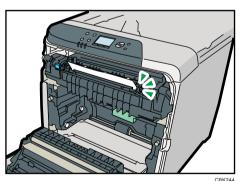
CBK191

10

3. 用紙は下向きに引き抜いてください。上には抜かないようにしてください。

CBK192

排紙口に用紙が見えている場合は、定着ユニットのレバー（青色）を下げ、排紙口からゆっくりと用紙を引き出します。

4. つまった用紙が見えにくいときは、ガイドの青色シールが貼っているつまみを下げてガイドを開き、紙づまりがないか確認してください。

CBK193

CBK244

ガイドを開いて確認した後は、必ず閉じてください。ガイドを開いた状態で前カバーを閉じると、破損の原因になります。

5. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CBK156

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

紙づまり（Y）が発生したとき

「Y 給紙トレイの用紙を取り除き前カバーを開閉します。」が表示されたときの対処方法について説明します。

紙づまり（Y）は、増設トレイからの用紙の紙づまりとなります。

紙づまり（Y）の対処方法は、紙づまり（A）給紙トレイの対処方法と同様です。詳しくは、P.219「紙づまり（A）が発生したとき」を参照してください。

補足

- 増設トレイで用紙がつまっていて、つまった用紙が見えにくいときは、増設トレイを取り出してから用紙を取り除いてください。
- つまった用紙の除去後、トレイ内の用紙を押し下げて底板をロックさせ、増設トレイをゆっくり戻します。

紙づまり（Z）が発生したとき

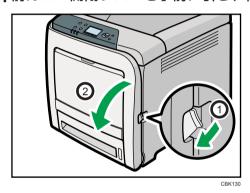
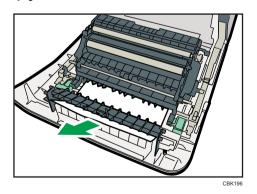
「%Z 前カバーを開けて用紙を取り除いてください。」が表示されたときの対処方法について説明します。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。**

1. 前カバー開閉レバーを手前に引き、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

2. 搬送ユニットの下につまっている用紙をゆっくりと両手で前方へ引き抜きます。

用紙が見つからない場合は、プリンター本体の内部を確認してください。

3. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

CBK156

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

11. 付録

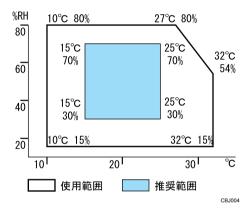
本機の保守・運用について説明します。消耗品やオプションの一覧、本機やオプションの仕様を示します。

保守・運用について

保守や輸送方法についての注意事項です。

使用上のお願い

本機を使用する上での注意事項です。

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。
- 印刷中に前カバーを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源コネクターを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 紙づまりなどのエラーでページが印刷されないことがあります。この場合、印刷されなかったページのみ再印刷してください。

- 日本国外へ移動する場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 本機は、月間印刷ページ数が 6,000 ページ以下（A4の場合）、1 日の通電時間の合計が 8 時間程度の条件で、使用年数を 5 年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が 6,000 ページを超えていたり、1 日に合計 8 時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が 360,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

※オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1PPM、0.2mg/m^3 を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
  - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
  - 計画的に経費の運用ができます。
  - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
  - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

補足

- 保守契約の内容により、定期点検はオプションとなります。

移動

⚠注意

- プリンター本体は、約 29kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を 2 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

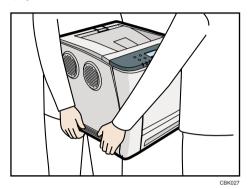
- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本機を日本国外に移動させた場合は、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本機および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

近くに移動する

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2. **ケーブルを取り外します。**

3. **プリンター本体の各カバー、給紙トレイがきちんとしまっていることを確認します。**

4. **両側についている取っ手を 2 人で持ち、本機を水平に保ち、静かに移動します。**

補足

- 移動の際は、トナーがこぼれないようできるだけ本機を水平に保ってください。

プリンターを輸送する

プリンター購入時の箱に入れて輸送してください。

重要

- **ケーブル類はすべて取り外します。**
- **トナーカートリッジはプリンター内部を汚すおそれがありますので、本機から取り外してください。**
- **精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。**

11

接地接続について

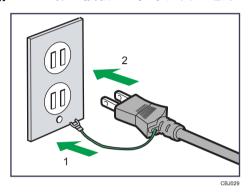
⚠警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D 種）を行っているアース線

1. 本機の電源スイッチが「Off」になっていることを確認します。

2. アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。

廃棄・回収

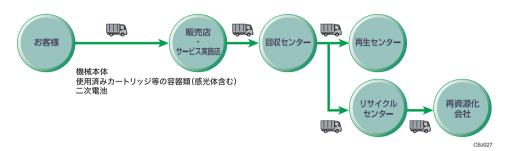
本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。相談先が不明の場合は、お客様相談センターへお問合せください。個人のお客様がご自身で廃棄される場合、本機は一般廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

使用済み製品の回収とリサイクルについて

リコーは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しております。

本製品のご使用後の廃棄などのお取り扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。（回収費は有償となります。）

リコーの環境保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。

使用済み製品の回収の流れ

二次電池について

本機は二次電池を使用しております。二次電池は機械本体と一緒に回収しています。

使用済みカートリッジの回収について

弊社では、環境保全を優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的におこなっております。複数の回収方法を用意しておりますので、回収にご協力ください。なお回収方法の詳細は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.ricoh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン及び TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しております IPSiO SP トナーカートリッジ C310／C310H シリーズを使用し、白黒プリント及び、カラープリントを行った場合について、試験方法：RAL-UZ 122：2006 の付属書 2 に基づき試験を実施しました。)

消耗品一覧

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 *1
IPSiO SP トナーカートリッジ ブラック C310	308504	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ ブラック C310H	308500	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ シアン C310	308505	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ シアン C310H	308501	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ マゼンタ C310	308506	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ マゼンタ C310H	308502	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ イエロー C310	308507	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ イエロー C310H	308503	1 個	約 5,000 ページ

*1「印刷可能ページ数」は、A4 5%チャート連続印刷をした場合の目安です。

補足

- 交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、ご使用の条件によっては、寿命が半分以下になる場合があります。
- カラー印刷をあまり行わない場合は、［システム設定］の［白黒印刷優先設定］で、［する］を選択することを推奨します。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店にご連絡ください。
- 消耗品のご購入は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 本機をはじめてご使用になるときは、本機に同梱されている 4 つのトナーカートリッジをお使いください。
- 本機に同梱されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は約 2,200 ページです。
- 本機は、品質維持のため動作中に定期的にクリーニングを行い、トナーを消費します。

- トナーカートリッジは、トナーが残っていてもクリーニング機能の低下を防ぐために、交換時期になることがあります。
- トナー交換メッセージが表示され印刷が停止した場合でも、印刷を続けたいときは、数ページ印刷できることができます。詳しくは、P.157「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

廃トナーボトル

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数*1
IPSiO SP 廃トナーボトル C310	515284	1	約 55,000 ページ

*1「印刷可能ページ数」は、A4 5%チャート連続印刷をした場合の目安です。

補足

- 実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。
- 交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- 廃トナーボトル（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

用紙

各種用紙の情報については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/paper/index.html）を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

外部オプション

500 枚増設トレイ C221（商品コード：515271）

500 枚の用紙をセットできる増設トレイです。増設時には給紙トレイ、手差しトレイと合わせて最大 1,100 枚の用紙を同時にセットできます。

拡張 HDD

拡張 HDD タイプ Q（商品コード：308744）

- フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。
- 拡張 HDD には、セキュリティー機能を強化するための SD カードが付属されています。付属されている SD カードを使うことで、拡張 HDD 内のデータの上書き消去が可能となるほか、本機に蓄積されるアドレス帳データ、認証情報、蓄積文書などをデータの記録時に暗号化して、情報の漏洩を防止します。

SDRAM モジュール

SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

SDRAM モジュール VIII 256MB（商品コード：515502）

メモリー容量は 256M バイトです。

SDRAM モジュール X 512MB（商品コード：308752）

メモリー容量は 512M バイトです。

拡張 SD カード

IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ C320（商品コード：308745）

RPDL、RTIFF、R98、R55、R16 が含まれたマルチエミュレーションカードです。

IPSiO PS3 カード タイプ C320（商品コード：308746）

本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にも Mac OS、UNIX から印刷できるようにします。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカードの機能が含まれています。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ C320（商品コード：308747）

PDF ダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO PCL カード タイプ C320（商品コード：308748）

PCL が含まれたエミュレーションカードです。

IPSiO デジタルカメラ接続カード タイプ G（商品コード：308749）

PictBridge 対応デジタルカメラからのダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO BMLinkS カード タイプ C（商品コード：308750）

本機を BMLinkS 対応プリンターにできます。

IPSiO VM カード タイプ G（商品コード：308751）

本機を Embedded Software Architecture 対応プリンターにできます。

拡張ボード

1Giga イーサネットボード タイプ B（商品コード：515146）

1000Mbps（1Gbit/sec）という高速ネットワーク環境に接続して印刷することができます。1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T のインターフェースに対応しています。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A（商品コード：515506）

IEEE 802.11a/b/g インターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷することができます。

拡張 1284 ボード タイプ A（商品コード：509397）

パラレル接続を拡張するボードです。

拡張認証システム

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1（商品コード：315927）

本体機器に IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1-PC（商品コード：315928）

パソコンに IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー IC カード タイプ R1（商品コード：315929）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる IC カードタイプの認証カードです。

リコー IC カード管理ソフト タイプ R1（商品コード：315931）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる認証カードを発行するためのパッケージです。

リコー個人認証カード タイプ R1-09（商品コード：315343）

リコー個人認証システムを運用する時に必要となる、本体機器に装着する SD カードです。

インターフェースケーブル

LP インターフェースケーブル タイプ 1B（商品コード：307273）

NEC PC-9800 シリーズ 双方向通信対応 2.5m

LP インターフェースケーブル タイプ 4B（商品コード：307274）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機 、PC98-NX シリーズ 双方向通信対応 2.5m

LP インターフェースケーブル タイプ 4S（商品コード：307470）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機、PC-98NX シリーズ 双方向通信対応 1.5m

USB2.0 プリンターケーブル （商品コード：509600）

USB プリンターケーブル 2.5m

IEEE1284 変換コネクタ タイプ A （商品コード：509432）

パラレルインターフェースの形状を変換するコネクタです。

LP インターフェースケーブル タイプ 1B/4B/4S の接続に必須です。

インターフェースケーブル タイプ 4BH （商品コード：515454）

NEC PC98-NX シリーズ、各社 DOS/V 機 双方向通信対応 2.5 m

リコー USB2.0 ケーブル タイプミニ B （商品コード：315134）

本体とリコー個人認証 IC カード R/W を接続するための USB ケーブルです。このケーブルは、本体とパソコンを接続するための USB ケーブルではありませんので、ご注意ください。

仕様

本体

	IPSiO SP C320
レーザー規格	レーザークラス 1
現像方式	半導体レーザービーム走査+乾式 1 成分電子写真方式（4 ドラムタンデム式）
CPU	RM7035C-533L（533MHz）
HDD（オプション）	80GB
メモリー	標準：384M バイト 最大：768M バイト
ファーストプリント	モノクロ：13.5 秒以下*1 （A4▯：給紙トレイから給紙した場合） カラー：13.5 秒以下*1 （A4▯：給紙トレイから給紙した場合）
連続プリント速度	モノクロ：25 ページ／分（A4▯） カラー：25 ページ／分（A4▯）
搭載フォント	アウトライン：明朝 L、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier 4 書体、Arial 4 書体、TimesNewRoman 4 書体、Wingdings、Century、Symbol PostScript 3：日本語 2 書体（平成明朝 W3、平成角ゴシック W5）、欧文 136 書体 PDF Direct：日本語 2 書体（HG 平成明朝 W3、HG 平成角ゴシック W5）、欧文 136 書体 PCL：欧文フォント 45 書体、International Font 13 書体 バーコード：JAN（標準）、JAN（短縮）、2of5（industrial）、2of5（Matrix）、2of5（ITF）、CODE39、CODE128、NW-7、UPC（A）、UPC（E）、カスタマバーコード、UCC/EAN-128 その他：OCR-B、漢字ストローク
用紙サイズ	詳しくは、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
用紙種類	詳しくは、P.111「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
解像度	600dpi×600dpi 2400dpi 相当×600dpi 1200dpi×1200dpi
出力形式（標準）	RPCS
出力形式（オプション）	R55（IBM5577）、R98（NEC PC-PR201H）、R16（EPSONESC/P）、RTIFF（TIFF）、RPDL、PS3、PDF、BMLinkS、PictBridge、PCL

	IPSiO SP C320
インターフェース	本体標準 • イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX データ転送速度：10Mbps、100Mbps 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk • USB 2.0 対応 OS：Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 9、Mac OS X 10.3.3 以降 データ転送速度：480Mbps、12Mbps 通信方式：USB2.0 規格に対応 接続方式：USB2.0 規格に対応したデバイス • USB ホストインターフェース オプション • Gigabit Ethernet 1000BASE-T • IEEE 1284 準拠 双方向パラレル • IEEE 802.11a/b/g
騒音*2	待機時：28dB（A）以下 稼動時（本機のみ）：モノクロ 50dB（A）以下、カラー 50dB（A）以下
ウォームアップタイム	電源投入時：20 秒以下*3 省エネモード時：15 秒以下
給紙量	給紙トレイ（トレイ 1）：500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） 増設トレイ（トレイ 2）（オプション）：500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） 手差しトレイ：100 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
最大給紙量	1,100 枚（500 枚増設トレイ C221 装着時）
排紙量	150 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
排紙方法	裏面排紙
電源	100V、13A、50/60Hz
消費電力	最大 1,300W 予熱モード時：45W 以下 オートオフモード時：4.5W 以下 電源オフ時には、電力は消費されません。
外形寸法（幅×奥×高）	本体のみ：400 × 480× 387mm*4 拡張 HDD 装着時：400 × 502× 387mm*4
質量	約 29kg

*1 本機がしばらく使われていない状態の場合、1 ページ目の印刷に多少時間がかかる場合があります。

*2 ISO7779 に基づく実測値であり、オペレータ位置における音圧レベルです。

*3 画像調整により、1、2 分かかる場合があります。

*4 増設トレイ（トレイ 2）が装着されている場合は、高さが 125mm 増加します。

補足

- 本製品は JIS C6802 （IEC 60825-1）「レーザー製品の安全基準」に基づき、“クラス 1 レーザー製品” に該当します。
- USB 2.0 インターフェースを使って本機を接続する場合、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。
- Macintosh では、本体標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS 9 のサポート速度は USB1.1 相当です。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。
- ご利用いただいているインターフェースをリコー推奨品へ交換する。

この装置は，クラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
ＶＣＣＩ－Ｂ

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

※無線 LAN ご使用の場合

本無線製品は 2.4GHz 帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

IEEE 802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

500 枚増設トレイ C221

項目	内容
用紙紙厚	60 〜 105 g/m^2

項目	内容
用紙サイズ	A4D、LetterD
最大給紙量	500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
外形寸法（幅×奥×高）	400 × 450× 127mm
重量	4kg 以下

1Giga イーサネットボード タイプ B

項目	内容
インターフェース	イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T） USB 2.0
データ転送速度	イーサネット：10Mbps、100Mbps、1000Mbps USB：480Mbps、12Mbps
対応プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk
ケーブルの長さ	イーサネット：100m USB：5m

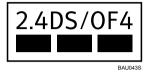
補足

- USB インターフェースは Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/20008/2008 R2、MacOS 10.3.3 以降に対応しています。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A

項目	内容
インターフェース	IEEE 802.11a/b/g 準拠（W52/W53）、Wi-Fi 準拠
伝送方式	802.11a：直交周波数分割多重（OFDM）方式 802.11b：直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式 802.11g：直交周波数分割多重（OFDM）方式、直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式
伝送速度	802.11a： 6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps 802.11b： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps 802.11g： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、6Mbps、9Mbps、11Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps

項目	内容
周波数範囲	802.11a：5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53） 802.11b：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz 802.11g：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）

※無線 LAN に記載されているマークについて

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF：DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

拡張 1284 ボード タイプ A

項目	内容
通信方式	IEEE 1284 規格に対応
接続方式	IEEE 1284 規格に対応したデバイス

商標

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac OS、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Monotype は Monotype Imaging, Inc.の登録商標です。

NEC は、NEC Corporation の登録商標です。

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。

PictBridge は商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

UPnP™ is a trademark of the UPnP Implementers Corporation.

- MS-DOS の製品名は、Microsoft® MS-DOS®です。
- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional Edition

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 7 Home Premium

  Microsoft® Windows® 7 Professional

  Microsoft® Windows® 7 Ultimate

  Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

BMLinkS について

- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（Japan Business Machine and Information System Industries Association<JBMIA>）が推進しているオフィス機器インターフェイスです。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS 認証を受けています。
- BMLinkS 標準仕様バージョンについては、BMLinkS のインストールガイドを参照してください。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS プリントサービスを実装しています。

11

索引

記号・数字

アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

株式会社 リコー

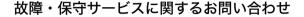
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP C320 使用説明書〈ハードウェアガイド〉

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOHのホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120-000-475
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA (JP) 2010年9月 M075-8505